

長島町学校施設等長寿命化計画

令和元年12月

長島町教育委員会

目次

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的など	1
1.1 背景と目的.....	1
1.2 計画の位置づけ.....	1
1.3 計画期間.....	2
1.4 学校等施設数.....	2
2. 学校施設の目指すべき姿	3
3. 学校施設の実態	5
3.1 学校を取り巻く状況.....	5
3.2 学校施設の運営状況・活用状況の実態.....	12
3.3 学校施設の老朽化状況の実態.....	20
3.4 劣化調査総評.....	26
4. 学校施設整備の基本的な方針	27
4.1 学校施設長寿命化計画の基本方針.....	27
4.2 学校施設の規模・配置計画等の方針.....	28
4.3 改修等の基本的な方針.....	30
5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等	32
5.1 改修等の整備水準.....	32
5.2 維持管理の項目・手法等.....	34
6. 長寿命化の実施計画	35
6.1 実施計画の条件設定.....	35
6.2 優先順位づけと実施計画.....	36
6.3 長寿命化のコスト見通しと効果.....	37
6.4 長寿命化および統合再編の総評.....	46
7. 長寿命化計画の継続的運用の方針	48
7.1 情報基盤の整備と活用.....	48
7.2 推進体制の整備.....	48
7.3 フォローアップ.....	48
参考資料	49

1. 学校施設の長寿命化計画の背景・目的など

1.1 背景と目的

長島町（以下「本町」という。）においては少子化の進展によって児童・生徒数が減少し、学校の小規模化が進んでおり、平成 25 年度の幣串小学校と獅子島小学校の統合再編を筆頭に、平成 27 年度に本浦小学校が鷹巣小学校と、平成 29 年度に田尻小学校が川床小学校と、平成 30 年度に汐見小学校が城川内小学校とそれぞれ統合再編しました。今後も少子化が進むと考えられ、学校規模の適正化について検討が必要となっています。統合再編を進める場合、または小規模校の存続を図る場合のいずれにおいても、将来の児童・生徒数の動向を見据えた、効率的かつ効果的な施設整備が課題となっています。

本町の学校施設は、その半数以上が昭和 40 年代から昭和 50 年代にかけて建設されました。さらに、獅子島小学校以外のすべての学校施設において築年数 20 年を超えており、老朽化の進行は避けられません。今後は大規模な工事や修繕、建替えが必要となりますが、それには膨大な費用が掛かることが見込まれます。限られた財源の中で、学校施設の機能性と安全性を確保するためにも、長期的な視点から更新・統合再編・長寿命化を図ることで維持管理に係るコストを縮減・平準化することが必要となっています。

このような中、国は平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、各地方公共団体は個別施設ごとの長寿命化計画を策定するよう求められました。これを踏まえ、文部科学省では平成 27 年 4 月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を作成し、学校施設の長寿命化計画策定における考え方を示しています。

以上のような背景を踏まえ、本町における学校施設の状況を把握し、長期的な視点から計画的に更新・統合再編・長寿命化を行うことで、維持管理に係るトータルコストの縮減および予算の平準化につなげることを目的として、「長島町学校施設等長寿命化計画」（以下「本計画」という。）を策定しました。

1.2 計画の位置づけ

本町では、「長島町総合振興計画」に基づき、公共施設等の総合的かつ計画的な管理推進の基本方針として「長島町公共施設等総合管理計画」を策定しました。本計画は、「長島町公共施設等総合管理計画」を基に、その中の学校施設に関する個別計画として位置づけられるものです。

1.3 計画期間

本計画において、今後、学校施設が一斉に更新時期を迎える中、部位別や学校別の優先順位を考えながら、長寿命化による維持管理等に係るトータルコストの縮減や予算の平準化を図ります。令和2年（2020年）から令和41年（2059年）の40年間の長期方針と今後10年間の具体的な整備計画を策定します。社会情勢や教育環境の変化等に応じ、原則として10年ごとに見直しを行うこととします。

1.4 学校等施設数

町内の小学校、中学校、学校給食センターを対象とします。建物は校舎と体育館を中心に、200㎡以上の建物を対象とします。改築計画がある鷹巣小学校の一部と城川内小学校の教室棟、および平成25年3月完成の獅子島小学校は現地調査の対象外としています。

表 1-1：長島町学校数、施設数

施設区分	学校数	施設数
小学校	7校	20棟
中学校	5校	18棟
給食センター	1施設	3棟
計	12校および1施設	41棟

表 1-2：長島町学校施設名一覧

小学校	中学校	給食センター
鷹巣小学校	鷹巣中学校	学校給食センター
川床小学校	川床中学校	-
伊唐小学校	獅子島中学校	-
城川内小学校	長島中学校	-
平尾小学校	平尾中学校	-
蔵之元小学校	-	-
獅子島小学校	-	-

2. 学校施設の目指すべき姿

学校施設は児童・生徒にとっては学習の場であり、日々の多くの時間を過ごす生活の場でもあります。地域住民にとっては災害時の避難所、生涯学習の場、屋内運動場の開放等によるスポーツの活動拠点になります。このような機能を持つ学校施設の目指すべき姿を、安全性、快適性、学習活動への適応性、地域住民への適応性、環境への適応性、地域拠点の6つの観点から以下のとおりに定めます。

■安全性

日常生活における安全性の確保、自然災害に対応できる設備整備

児童・生徒にとって学習の場であり生活の場である学校施設は、安全・安心に過ごせる教育環境を整備する必要があります。老朽化が進む校舎には改修・改築工事が求められます。また、児童・生徒を犯罪から守るため、防犯ブザーや防犯灯の設置が求められます。

さらに、学校施設は災害時に避難所の役割を担うため、自然災害に対応できる設備を整備する必要があります。平成28年4月の熊本地震では、本町において震度5弱を記録しました。最近では大型台風やゲリラ豪雨による被害が全国各地で発生しています。ここ数年懸念されている南海トラフ地震が起きた場合は、本町は津波の高さが最大で3.4mとなる試算結果もあります。このような自然災害に備えて、避難所としての機能（躯体の耐震性、非常時の通信体制、自家発電装置の設置など）を整備することが考えられます。

■快適性

トイレの洋式化100%、バリアフリーの推進

近年、本町では学校トイレの洋式化を進めています。家庭では洋式トイレが一般的であり、学校トイレとギャップがあります。このギャップを解消するためにも、年次的な改修を進め、小中学校のトイレの洋式化100%を目指します。

学校施設を避難所として利用する際に、高齢者や障害を持つ方にも使いやすいようバリアフリー化を推進します。

■学習活動への適応性

小中学校の統合再編、情報教育に対応したICT環境

「長島町第2次総合振興計画」にもあるとおり、小中学校の統合再編を推進します。小中学校で複式学級を導入しているのは12校中3校です。中学校では免許教科外教科担任を兼任するなど教員の負担も大きく、一部の科目においては授業の質の確保が難しい状況です。学校の統合再編により、教員の確保、授業の質の確保、効率的な学校施設の改修、改築が期待できます。

また、近年ICT環境の整備が求められています。今後のデジタル社会に対応できる人材育成のためにもICT環境を整備していきます。

■住民活動への適応性

生涯学習の機会・場の提供

音楽室や家庭科室といった学校特有の教室を開放することで、さまざまな住民活動の場を提供することができます。町内の芸術活動に適した施設は限られていますが、学校施設はほとんどの芸術活動に対応することができます。町内施設に空きがなかった場合には、学校施設を利用できるような仕組みをつくっていきます。

■環境への適応性

環境に配慮した学校施設の整備

昨今の地球温暖化といった環境問題を受け、高効率な照明設備、冷暖房の効率性の向上が求められています。また、自然採光や自然エネルギーの活用など環境負荷の低減を図る施設整備が求められています。

■地域拠点

施設整備の推進

地域に開かれた学校とするため、保護者や地域住民が訪れやすい環境とし、特に屋内運動場は学校開放事業でも地域住民の利用率が高いことから、放課後や夜間の安全な利用を考慮した施設整備を行う必要があります。

3. 学校施設の実態

3.1 学校を取り巻く状況

3.1.1 町の概要

本町は、鹿児島県の最北端に位置し、四方を東シナ海、八代海、長島海峡等の海に囲まれています。島の北部一帯は雲仙天草国立公園に指定されており、豊かな自然に囲まれた地域です。

島の北西部は長島海峡を隔てて天草下島があり、島内の蔵之元港から熊本県天草市の牛深港までフェリーによって結ばれています。島の南部は、日本三大急流のひとつである黒之瀬戸で九州と隔てられ、対岸の阿久根市とは黒之瀬戸大橋で結ばれています。黒之瀬戸大橋を渡って出水駅に行くのに車で約 50 分、出水駅から鹿児島市内までは新幹線で 25 分ほどかかるので、本町から鹿児島市内まで 1 時間 15 分ほどで行けます。本町から鹿児島空港までは、車で約 2 時間かかります。

3.1.2 人口推移（全体、年齢別、地区別）

①長島町全体の人口推移

本町の人口は、昭和 35 年以降減少が続いており、昭和 45 年から昭和 49 年の第 2 次ベビーブームにおいても人口増加は見られません。平成 27 年には 10,431 人と昭和 35 年の半数以下の人口となっています。

また、世帯数は一時期 4,500 世帯を超えたもののほぼ横ばいで、近年は減少傾向にあります。世帯当たりの人員数は、昭和 35 年の 4.8 人に比べて、平成 27 年では 2.5 人と半分ほどになっています。

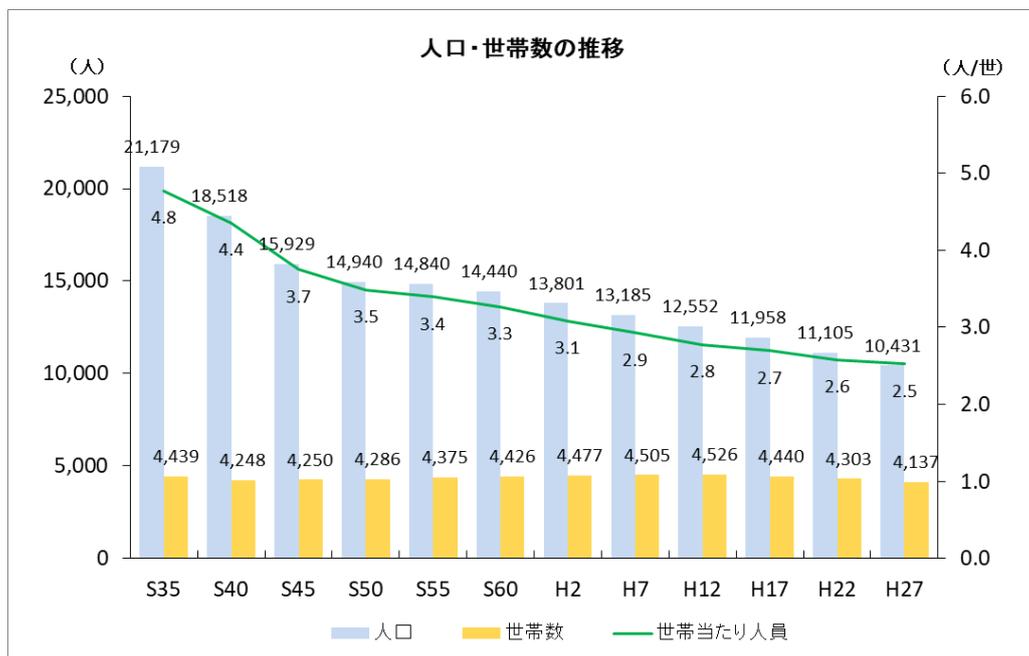


図 3-1：人口・世帯数の推移

表 3-1：人口・総世帯数・世帯当たりの人員の推移

	S35	S40	S45	S50	S55	S60
人口 (人)	21,179	18,518	15,929	14,940	14,840	14,440
総世帯数 (戸)	4,439	4,248	4,250	4,286	4,375	4,426
世帯当たり人員	4.8	4.4	3.7	3.5	3.4	3.3
	H2	H7	H12	H17	H22	H27
人口 (人)	13,801	13,185	12,552	11,958	11,105	10,431
総世帯数 (戸)	4,477	4,505	4,526	4,440	4,303	4,137
世帯当たり人員	3.1	2.9	2.8	2.7	2.6	2.5

資料：国勢調査

②年齢別人口推移

本町の人口は、1995 年以降減少の一途をたどってきました。国立社会保障・人口問題研究所の「日本の地域別将来推計人口（2018 年推計）」によると、本町の人口は少なくとも 2045 年までは減少すると考えられます。本町全体の人口は、2020 年から 2045 年までの 25 年間で 3,456 人（35.7%）減少する見込みです。

年代別に考えると、2020 年から 2045 年までの 25 年間で、14 歳以下の人口は 625 人（46.0%）減少します。生産年齢人口とされる 15～64 歳の人口は、1,904 人（39.8%）減少します。65 歳以上の高齢者人口は、927 人（26.1%）減少します。14 歳以下の人口と 15～64 歳の人口の減少率は本町全体の減少率よりも大きく、特に学校施設を利用する 14 歳以下の人口の減少率が最も大きくなっています。

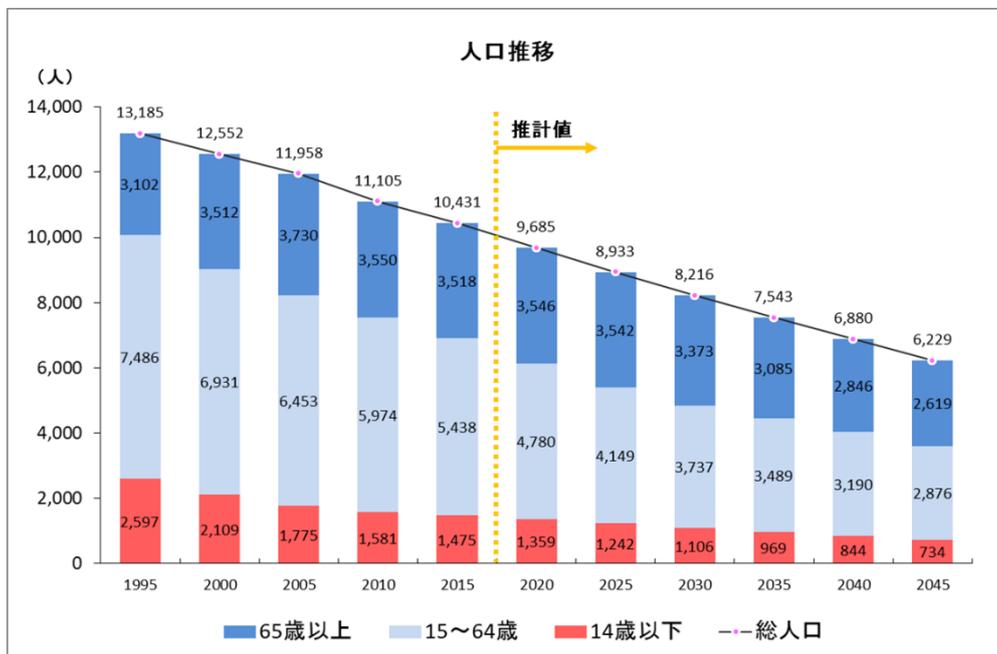


図 3-2：長島町の人口推移

表 3-2：長島町の年齢別人口推移

	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
14 歳以下	2,597	2,109	1,775	1,581	1,475	1,359	1,242	1,106	969	844	734
15～64 歳	7,486	6,931	6,453	5,974	5,438	4,780	4,149	3,737	3,489	3,190	2,876
65 歳以上	3,102	3,512	3,730	3,550	3,518	3,546	3,542	3,373	3,085	2,846	2,619
総人口	13,185	12,552	11,958	11,105	10,431	9,685	8,933	8,216	7,543	6,880	6,229

資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所

③地区別人口推移

地区別の人口推移を見ると、鷹巣地区に最も人口が集中しており、平成 27 年（2015 年）時点で全人口の 18.7%を占めています。平成 7 年（1995 年）から平成 27 年（2015 年）の 20 年間の人口変動を見ると、いずれの地区においても人口は減少していますが、その減少率は地区間で差が大きくなっています。鷹巣地区は減少率 10%未満で比較的穏やかな減少ですが、獅子島地区と下山門野地区では減少率 30%以上、山門野地区でも減少率 29.7%と 30%近く、地域差が大きいことがわかります。

表 3-3：長島町地区別人口動態

地区	H7	H7-H12	H12	H12-H17	H17	H17-H22	H22	H22-H27	H27	H7-H27
山門野	1,277	▲8.5%	1,168	▲8.8%	1,065	▲6.0%	1,001	▲10.3%	898	▲29.7%
川床	1,388	▲0.6%	1,379	▲6.8%	1,285	▲4.1%	1,232	▲6.5%	1,152	▲17.0%
鷹巣	2,095	▲2.8%	2,036	0.6%	2,048	▲4.6%	1,954	▲0.4%	1,946	▲7.1%
浦底	942	▲7.2%	874	▲6.1%	821	▲10.6%	734	▲2.5%	716	▲24.0%
諸浦	953	▲5.7%	899	▲1.6%	885	▲5.4%	837	▲3.8%	805	▲15.5%
獅子島	1,082	▲9.3%	981	▲13.3%	851	▲11.0%	757	▲9.0%	689	▲36.3%
平尾	1,884	▲8.3%	1,728	▲4.1%	1,658	▲9.8%	1,495	▲7.4%	1,385	▲26.5%
蔵之元	1,126	▲3.2%	1,090	▲5.0%	1,036	▲6.0%	974	▲6.5%	911	▲19.1%
指江	814	▲0.2%	812	1.1%	821	▲5.4%	777	▲8.1%	714	▲12.3%
城川内	952	▲1.1%	942	▲7.0%	876	▲8.1%	805	▲5.7%	759	▲20.3%
下山門野	672	▲4.3%	643	▲4.8%	612	▲11.9%	539	▲15.4%	456	▲32.1%
計	13,185	▲4.8%	12,552	▲4.7%	11,958	▲7.1%	11,105	▲6.1%	10,431	▲20.9%

資料：国勢調査

3.1.3 財政状況

■歳入

平成 29 年度決算の歳入額は 126 億 6843 万円であり、前年度と比較すると 6 億 300 万円増加しています。歳入額は増加傾向にあり、この 5 年間で約 13 億円増加しています。自主財源額は平成 27 年から減少を続けており、依存財源額は平成 29 年度が最も高くなっています。

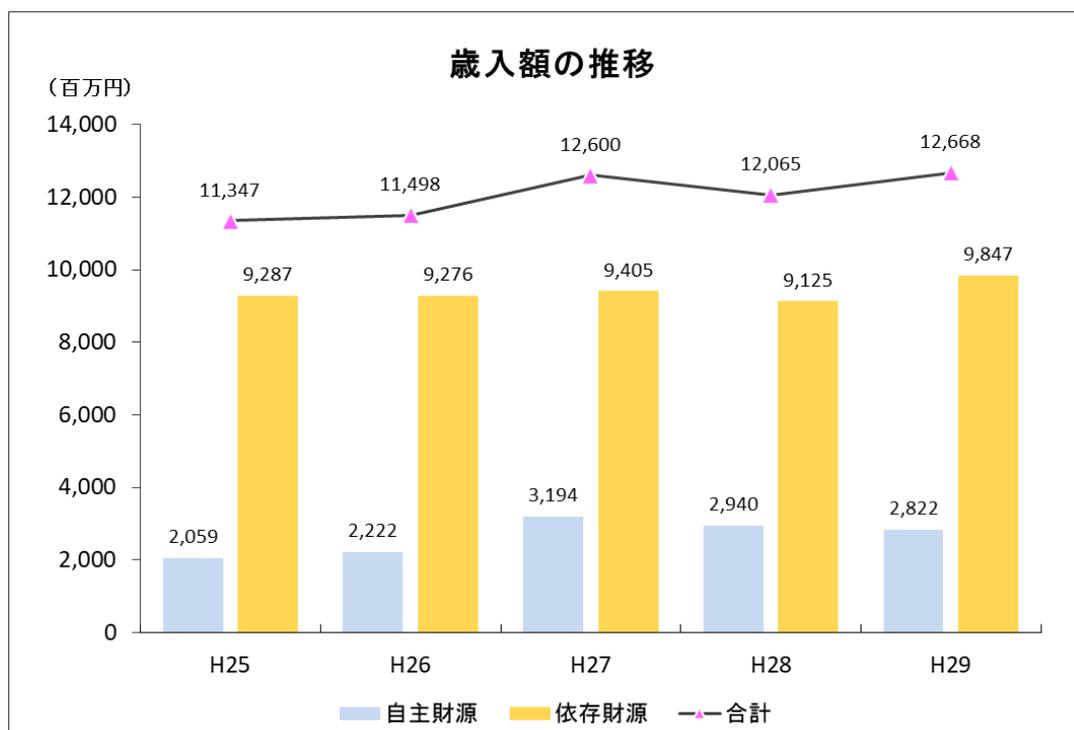


図 3-3：長島町の財源別歳入額の推移

表 3-4：長島町の財源別歳入額

(単位：百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
自主財源	2,059	2,222	3,194	2,940	2,822
依存財源	9,287	9,276	9,405	9,125	9,847
合計	11,347	11,498	12,600	12,065	12,668

資料：決算カード

■歳出

平成 29 年度決算の歳出額は 118 億 8051 万円であり、前年度と比較すると 5629 万円増加しています。歳出額は増加傾向にあり、中でも投資的経費が増加しています。義務的経費、投資的経費、その他経費の比率はそれぞれ約 40%、30%、30%で大きな変化は見られません。

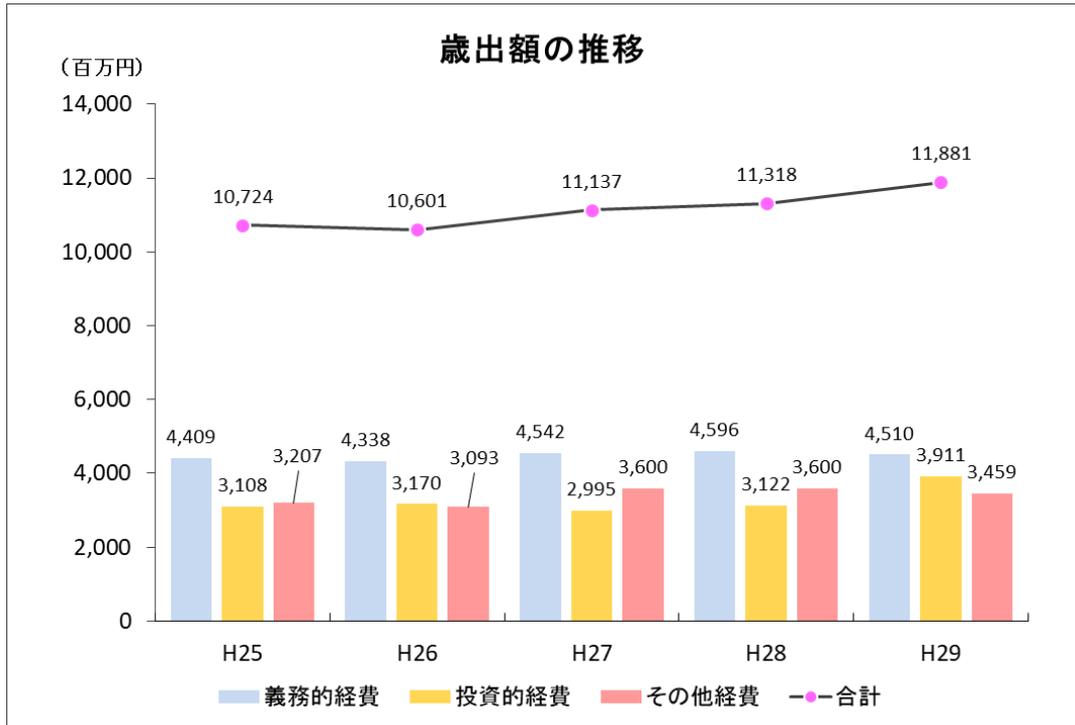


図 3-4：長島町の経費種類別歳出額の推移

表 3-5：長島町の経費種類別歳出額

(単位：百万円)

	H25	H26	H27	H28	H29
義務的経費	4,409	4,338	4,542	4,596	4,510
投資的経費	3,108	3,170	2,995	3,122	3,911
その他経費	3,207	3,093	3,600	3,600	3,459
合計	10,724	10,601	11,137	11,318	11,881

資料：決算カード

■平成 29 年度の財政状況

平成 29 年度の財政状況は、歳入 126 億円、歳出 118 億円でした。歳入のうち、自主財源の占める割合は 22.3%と少なく、依存財源が残りの 77.7%を占めています。歳出の 126 億円のうち、投資的経費は全体の 32.9%でその多くが普通建設事業費となっています。

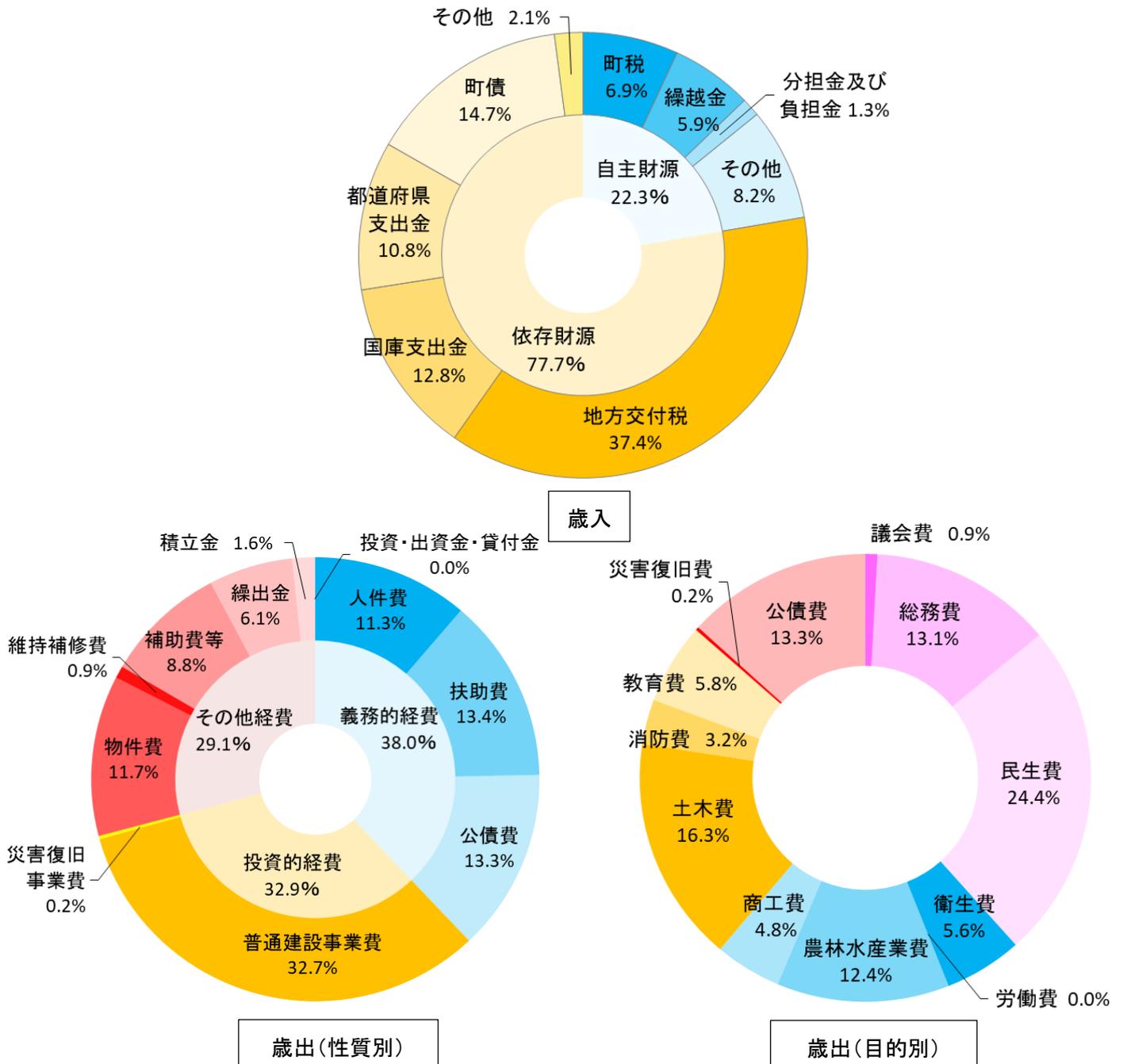


図 3-5：平成 29 年度財政状況（決算カード）

3.2 学校施設の運営状況・活用状況の実態

3.2.1 学校施設の保有状況

学校施設台帳をもとに、対象施設ごとの保有状況を表 3-6～表 3-8 にまとめました。

表 3-6：建物基本情報（小学校）

学校名	棟番号	建物名称	建物用途	建築年月	構造	階数	校舎等面積 (㎡)
鷹巣小学校	024	特別教室棟	校舎	S61.3	RC	2	770
	013	屋内運動場	体育館	S43.11	RC	1	601
	002	教室棟	校舎	S39	RC	2	650
	018-1	教室棟、管理棟、特別教室棟	校舎	S49	RC	3	1,195
川床小学校	016	管理教室棟	校舎	S54.3	RC	3	1,758
	013	屋内運動場	体育館	S51.3	RC	1	609
伊唐小学校	014-1	管理教室棟	校舎	H2.3	RC	2	738
	014-2	屋内運動場	体育館	H2.3	RC	2	495
城川内小学校	008	特別教室棟	校舎	S58.3	RC	2	782
	006	屋内運動場	体育館	S48.1	RC	1	532
	002-1	教室棟	校舎	S42	RC	2	558
	002-2	教室棟	校舎	S43	RC	3	360
平尾小学校	009	管理教室棟	校舎	S48.3	RC	3	1,193
	024	特別教室棟	校舎	H10.3	RC	2	467
	012	屋内運動場	体育館	S49.3	RC	1	496
蔵之元小学校	001-4	管理教室棟	校舎	H5.12	RC	2	212
	007	特別教室棟	校舎	S54.3	RC	2	405
	021	管理教室棟	校舎	H8.3	RC	3	1,032
	006	屋内運動場	体育館	S50.3	RC	1	480
獅子島小学校	001	校舎	校舎	H25	RC	2	663

*構造区分： 鉄筋コンクリート造・・・RC 鉄骨その他造・・・S 木造・・・W

表 3-7：建物基本情報（中学校）

学校名	棟番号	建物名称	建物用途	建築年月	構造	階数	校舎等面積 (㎡)
鷹巣中学校	022	管理教室棟	校舎	S53.2	RC	2	850
	023	教室棟	校舎	H11.8	RC	3	2,279
	032-1	屋内運動場	体育館	S59.3	RC	1	803
	032-2	地域・学校連携施設	体育館	S59.3	RC	2	259
川床中学校	016	管理教室棟	校舎	S48.3	RC	3	1,472
	023	特別教室棟	校舎	S60.3	RC	3	311
	015	屋内運動場	体育館	S44.3	RC	1	636
	020	武道場	体育館	S48	W	1	292
獅子島中学校	017	管理教室棟	校舎	S52.2	RC	3	1,305
	026	特別教室棟	校舎	S61.3	RC	2	252
	030	屋内運動場	体育館	H9.3	RC	1	830

長島中学校	013	管理教室棟	校舎	S55.3	RC	3	1,581
	022	特別教室棟	校舎	H2.2	W	1	153
	031	教室棟	校舎	H14.2	RC	2	660
	033	屋内運動場	体育館	H17.12	RC	1	1,137
平尾中学校	013	教室棟	校舎	S51.3	RC	1	120
	020	管理教室棟	校舎	S61.3	RC	2	1,578
	012	屋内運動場	体育館	S46.2	RC	1	682

*構造区分： 鉄筋コンクリート造・・・RC 鉄骨その他造・・・S 木造・・・W

表 3-8：建物基本情報（学校給食センター）

学校名	棟番号	建物名称	建物用途	建築年月	構造	階数	校舎等面積 (㎡)
学校給食センター	001-1	共同調理場	学校給食センター	H4.3	S	1	521
	001-2	2階会議室		H4.3	S	2	45
	001-6	共同調理場	H23.8	S	1	52	

*構造区分： 鉄筋コンクリート造・・・RC 鉄骨その他造・・・S 木造・・・W

対象施設を築年数別に集計すると図 3-6 のようになります。

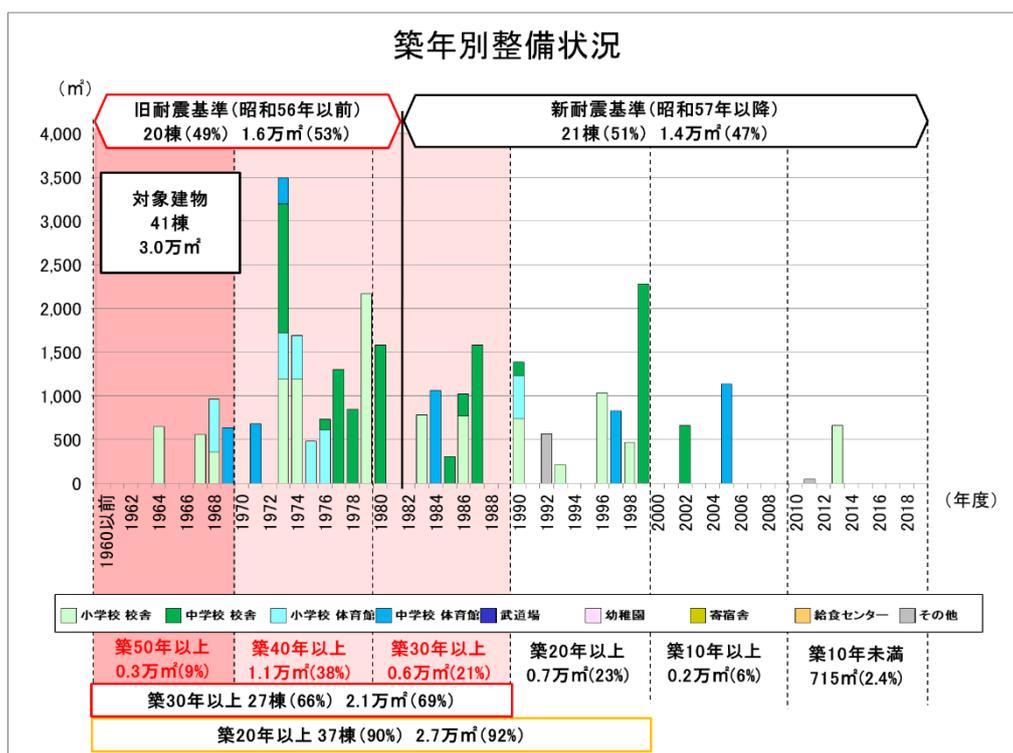


図 3-6：築年別整備状況

(学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルシートより)

※図 3-6 の「その他」詳細

1992 年 学校給食センター 共同調理場

1992 年 学校給食センター 2階会議室

2011 年 学校給食センター 共同調理場

3.2.2 学校施設の配置状況

対象となる学校施設は 13 施設（小学校 7 校、中学校 5 校、給食センター 1 施設）です。

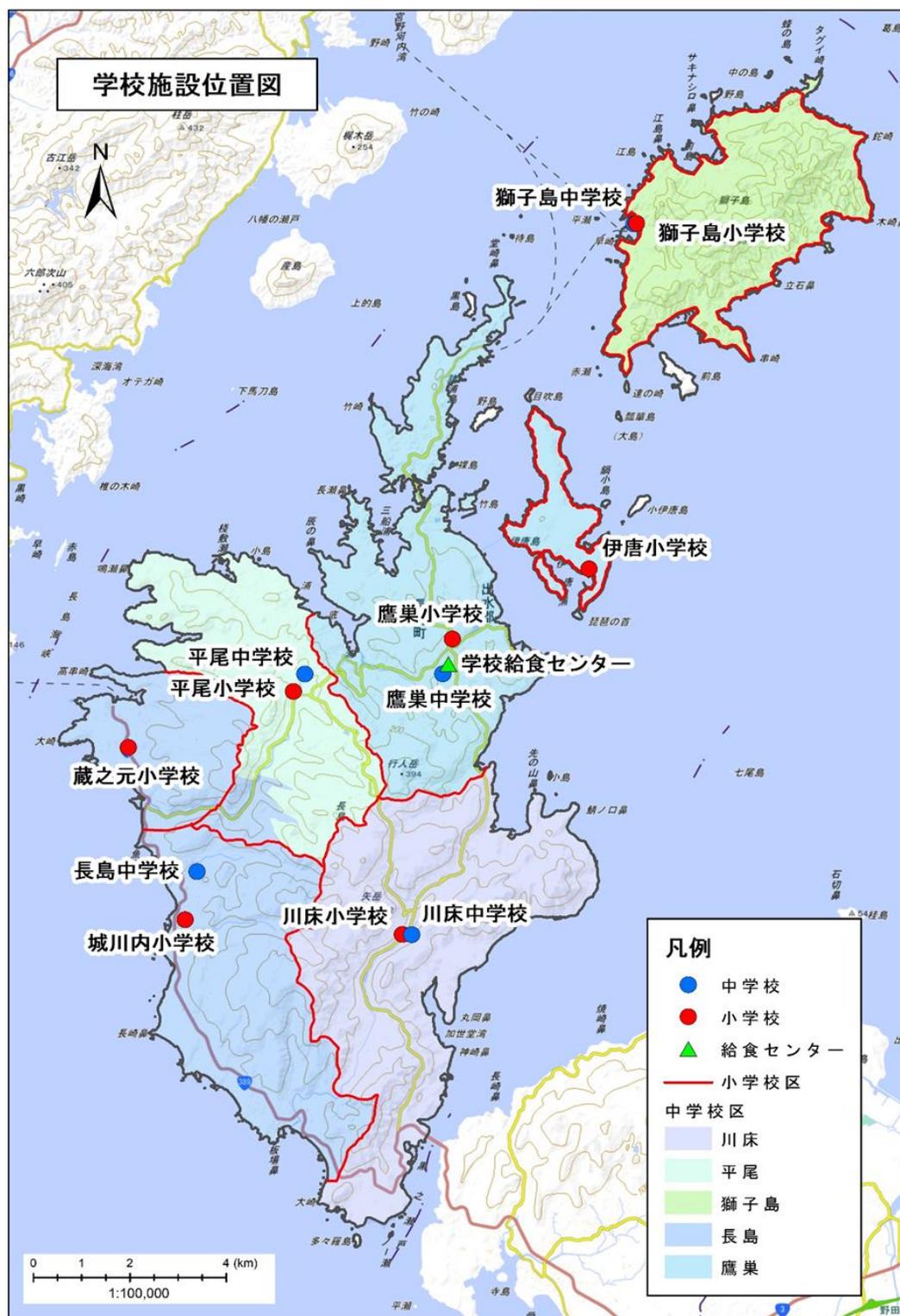


図 3-7：長島町学校施設の位置図

3.2.3 児童・生徒数および学級数の推移

ピークであった昭和 36 年以降、児童・生徒数は減少を続けています。児童・生徒数は、ピーク時は 5,284 人でしたが、現在は 883 人でピーク時の約 17% の人数です（平成 30 年度時点）。令和 6 年までの児童・生徒数の推計では、今よりも 47 人減るとの結果が出ています。

学級数について、平成 31 年度（令和元年度）に約 80% の学校で学級数の減少が見込まれています。学級数が平成 31 年度（令和元年度）を境に減少した後は、この先 5 年間はほぼ横ばいの状態が続くと考えられます。

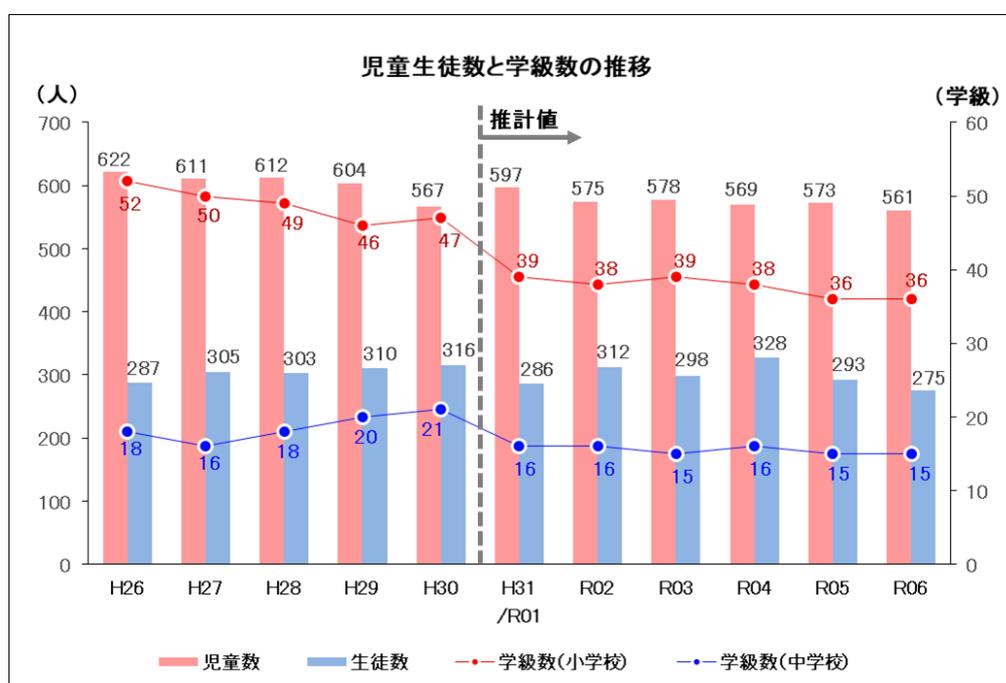


図 3-8：児童生徒数および学級数の推移（平成 30 年度教育要覧より）

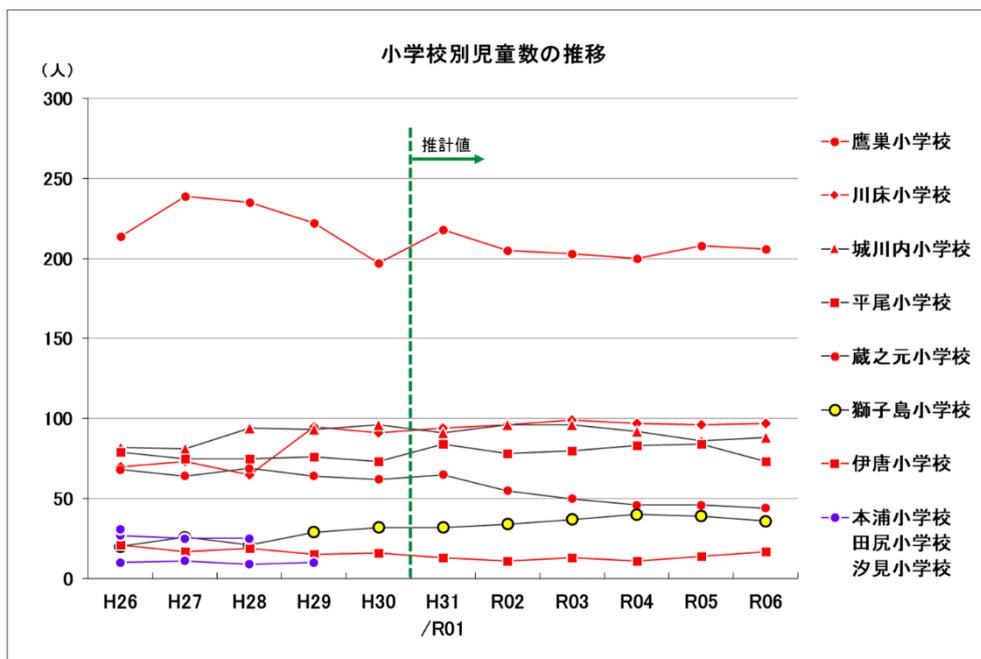


図 3-9：小学校別児童数の推移

表 3-9：小学校別児童数と学級数の推移

学校名	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R01	R02	R03	R04	R05	R06
鷹巣小学校	214	239	235	222	197	218	205	203	200	208	206
川床小学校	70	73	65	95	91	94	96	99	97	96	97
城川内小学校	82	81	94	93	96	91	96	96	92	86	88
平尾小学校	79	75	75	76	73	84	78	80	83	84	73
蔵之元小学校	68	64	69	64	62	65	55	50	46	46	44
獅子島小学校	20	26	21	29	32	32	34	37	40	39	36
伊唐小学校	21	17	19	15	16	13	11	13	11	14	17
本浦小学校	31	統合再編	-	-	-	-	-	-	-	-	-
田尻小学校	27	25	25	統合再編	-	-	-	-	-	-	-
汐見小学校	10	11	9	10	統合再編	-	-	-	-	-	-

学校名	H26	H27	H28	H29	H30	H31/R01	R02	R03	R04	R05	R06
鷹巣小学校	10	12	12	11	9	8	8	8	8	6	6
川床小学校	6	6	6	6	7	6	6	6	6	6	6
城川内小学校	6	6	6	6	8	6	6	6	6	6	6
平尾小学校	6	6	6	6	8	6	6	6	6	6	6
蔵之元小学校	7	7	7	7	7	6	5	6	5	5	5
獅子島小学校	3	4	3	4	5	4	4	4	4	4	4
伊唐小学校	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
本浦小学校	4	統合再編	-	-	-	-	-	-	-	-	-
田尻小学校	4	3	3	統合再編	-	-	-	-	-	-	-
汐見小学校	3	3	3	3	統合再編	-	-	-	-	-	-

資料：平成 30 年度長島町教育要覧

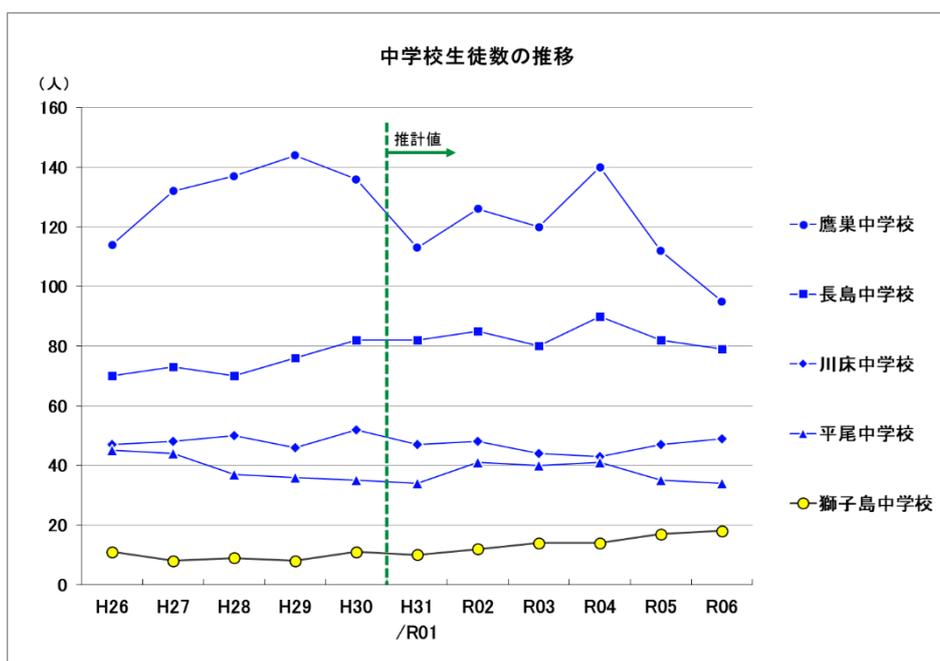


図 3-10：中学校別生徒数の推移

表 3-10：中学校別生徒数と学級数の推移

学校名	H26	H27	H28	H29	H30	H31/ R01	R02	R03	R04	R05	R06
鷹巣中学校	114	132	137	144	136	113	126	120	140	112	95
長島中学校	70	73	70	76	82	82	85	80	90	82	79
川床中学校	47	48	50	46	52	47	48	44	43	47	49
平尾中学校	45	44	37	36	35	34	41	40	41	35	34
獅子島中学校	11	8	9	8	11	10	12	14	14	17	18

学校名	H26	H27	H28	H29	H30	H31/ R01	R02	R03	R04	R05	R06
鷹巣中学校	5	4	6	7	7	5	5	4	5	4	4
長島中学校	4	3	4	4	4	3	3	3	3	3	3
川床中学校	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3
平尾中学校	3	3	3	3	4	3	3	3	3	3	3
獅子島中学校	2	2	2	3	3	2	2	2	2	2	2

資料：平成 30 年度長島町教育要覧

3.2.4 維持管理コスト

平成 26 年度から平成 30 年度の過去 5 年間における維持管理コスト（修繕費、光熱水費）の年平均は 3,296 万円（約 3,300 万円）で、修繕費と光熱水費の割合はおよそ 2：8 となっています。過去 5 年間においてこの比率の変化は見られません。

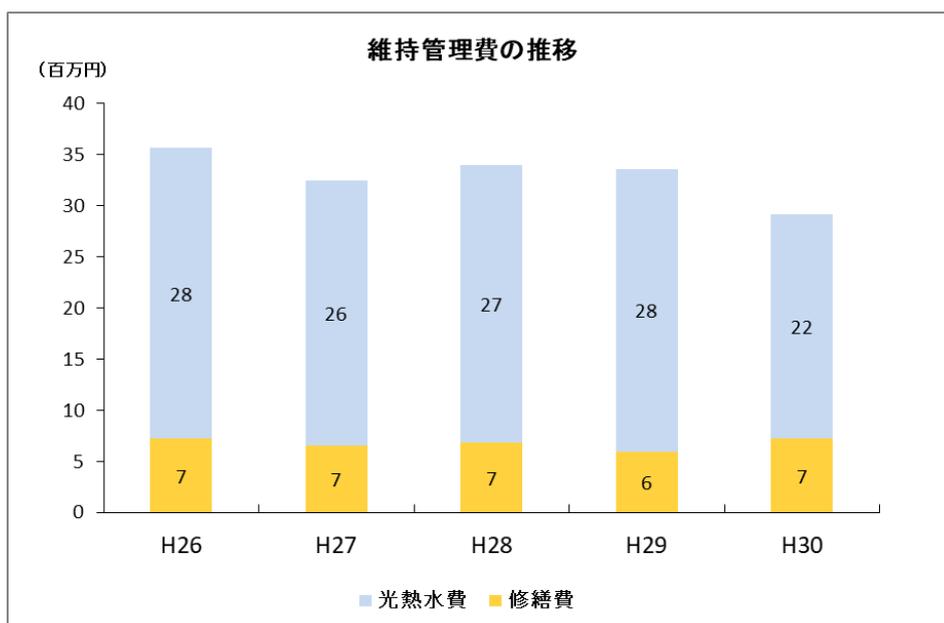


図 3-11：維持管理費の推移

表 3-11：過去 5 年間の施設関連費（修繕費、光熱水費） (単位：円)

	H26	H27	H28	H29	H30
修繕費	7,197,667	6,512,418	6,794,704	5,922,648	7,215,124
光熱水費	28,458,207	25,985,810	27,130,219	27,626,705	21,979,187
合計	35,655,874	32,498,228	33,924,923	33,549,353	29,194,311
				年平均	32,964,538
				(改め)	33,000,000)

資料：長島町教育委員会

3.2.5 現況の学校施設の課題

本町には小学校 7 校、中学校 5 校がありますが、人口減少や少子高齢化の影響により、15 歳未満の人口が年々減少しています。将来推計の結果からもわかるように 2045 年には 14 歳以下の人口は、現在の約 50%にまで減少すると考えられます。

本町の学校施設は、半数以上が昭和 40 年代から昭和 50 年代にかけて建設されました。これらの建物は長い年数を経て老朽化が進んでいます。建設されてから 50 年以上経つ建物は更新時期を迎えており、今後は大規模な改修や建替えが必要になります。

しかし、本町の自主財源は約 22%と少なく、ほとんどを地方交付税や国・県からの補助金に依存しています。近年、自主財源は減少傾向にあり、依存財源は増加傾向にあります。また、人口減少に伴い町税は今後も減少傾向となることが予想される一方で、歳出は増加傾向にあります。このような厳しい財政状況の中、すべての施設に対して建替えや改修工事を行うのは困難と思われます。

また、少子化の進展により児童・生徒数が減少し、学校の統合再編も行われてきました。今後も、学校の小規模化が進むと考えられ、学校の適正規模について検討する必要があります。

このような状況の中、教育内容や教育方法の多様化、防災機能整備、バリアフリー化、環境への配慮など学校施設に求められるニーズも多様化しています。このような社会的ニーズに対応した学校施設整備を進めていくことも課題となっています。

3.3 学校施設の老朽化状況の実態

文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」に基づき、学校施設を構造躯体の健全性と躯体以外の劣化状況の2つの観点から調査を実施しました。構造躯体の健全性の調査では、学校施設の基本情報と現地調査結果から、今後の維持・更新コスト算出のための区分（「長寿命」または「改築」）を判定しました。躯体以外の劣化状況調査では、現地調査結果から健全度を算定しました。なお、現地調査は、建築の専門知識を有する技術者の同行のもと実施しました。

3.3.1 学校施設の老朽化状況の判定、算出方法

文部科学省の「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を参照し、(1)対象建物基本情報、(2)構造躯体の健全性、(3)躯体以外の劣化状況を「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルシート」によって集計しました。

(1)対象建物の基本情報

学校施設台帳を用いて本町の学校施設の基本情報を整理しました。

建物情報一覧表 ■ 築50年以上 ■ 築30年以上 基準年:2019

建物基本情報											構造躯体の健全性								
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)	試算上の区分

図 3-12：建物情報一覧表

(学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルシートより)

(2)構造躯体の健全性

すでに実施されている耐震診断報告書をもとに、今後の維持・更新コスト算出のために各学校施設の試算上の区分を判定しました（「長寿命」または「改築」）。

■ 試算上の区分判定基準

- ・新耐震基準の建物：「長寿命」
- ・旧耐震基準の建物

鉄筋コンクリート造：コンクリート圧縮強度が 13.5N/mm² 以下または不明
→「改築」とする

鉄骨造、木造：概ね築年数が 40 年以上で腐食や劣化が激しいもの
→「改築」とする

上記以外の建物：「長寿命」

建物情報一覧表

■ 築50年以上 ■ 築30年以上 基準年:2019

建物基本情報													構造躯体の健全性					
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定	
						学校種別	建物用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm ²)

図 3-13：建物情報一覧表

(学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書付属エクセルシートより)

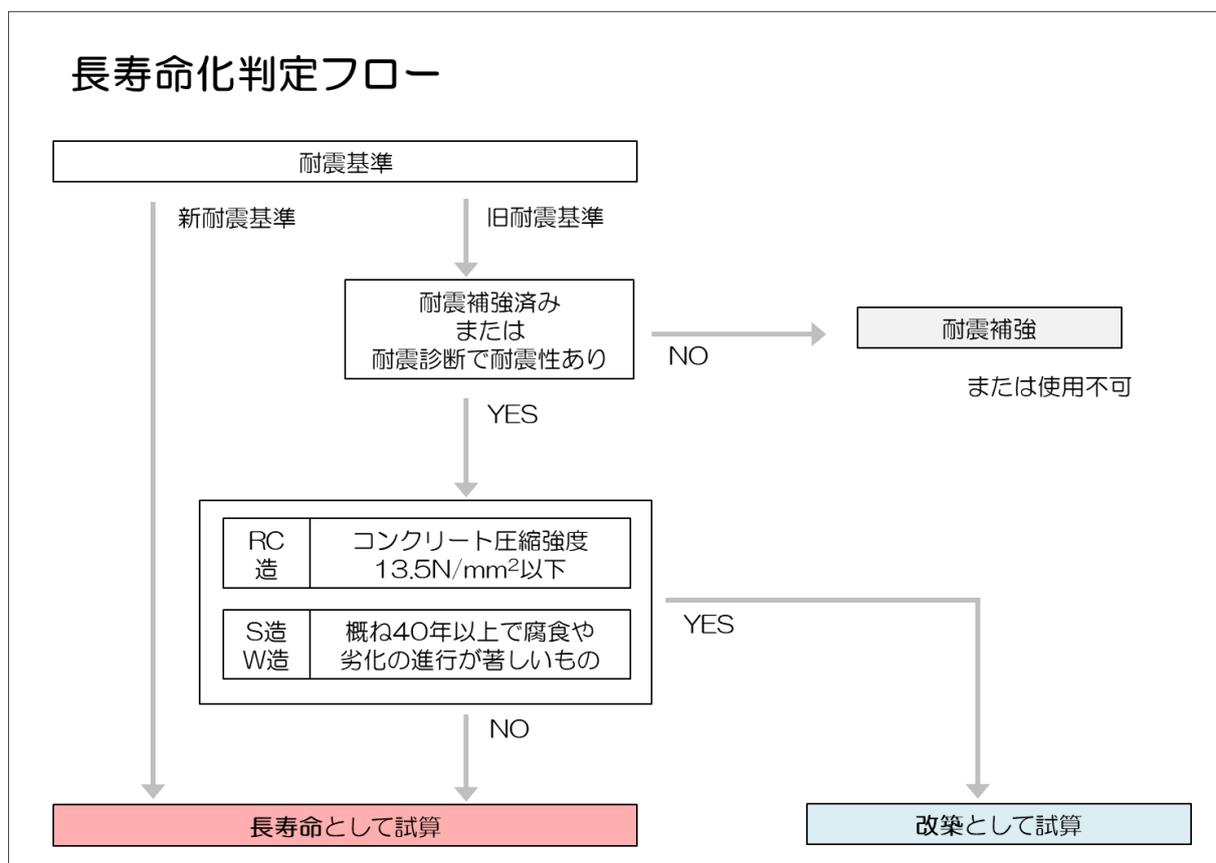


図 3-14：長寿命化判定フロー図（学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書より）

(3) 躯体以外の劣化状況

学校施設の躯体以外（屋根/屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備）の実態を把握するために、目視による現地調査を行いました。図 3-16 の「劣化状況調査票」を用いて、施設ごとに各項目の劣化度を判定しました。また、現地調査結果より各施設の健全度を算定しました。劣化度の判定と健全度の算出は、文部科学省の「学校施設の長寿命化策定に係る解説書」に基づいています。

■劣化度の判定

- 屋根/屋上、外壁：目視状況により、A、B、C、Dの4段階で評価しました。

評価	基準
A	概ね良好
B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生の兆し）
D	早急に対応する必要がある <ul style="list-style-type: none"> • 安全上、機能上、問題あり • 躯体の耐久性に影響を与えている • 設備が故障し施設運営に支障を与えている など

- 内部仕上げ、電気設備、機械設備：経過年数により、A、B、C、Dの4段階で評価しました。

評価	基準
A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
D	経過年数に関わらず著しく劣化事象がある場合

■健全度の判定

健全度とは、各建物の5つの部位（屋根/屋上、外壁、内部仕上げ、電気設備、機械設備）の劣化状況の評価結果を、100点満点で数値化した評価指標です。部位の評価結果に対する評価点を設定し、さらに部位ごとのコスト配分を設定します。これらの積算結果の総和を、コスト配分の合計値で割ることによって100点満点に換算することができます。

■評価点

評価	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

■コスト配分

部位	コスト配分
屋根/屋上	5.1
外壁	17.2
内部仕上げ	22.4
電気設備	8.0
機械設備	7.3
計	60

■健全度の計算式

$$\text{健全度} = (\text{部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分}) \text{の総和} \div 60$$

図 3-15 の調査票を使用し、部位別に劣化状況を評価しました。

通し番号				調査日			
学校名			学校番号			記入者	
建物名				建築年度	年度(年度)		
棟番号			延床面積	m ²	階数	地上	階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水 <input type="checkbox"/> アスファルト露出防水 <input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水 <input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板) <input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類) <input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある <input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある <input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある <input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある <input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある <input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ <input type="checkbox"/> タイル張り、石張り <input type="checkbox"/> 金属系パネル <input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等) <input type="checkbox"/> その他の外壁 () <input type="checkbox"/> アルミ製サッシ <input type="checkbox"/> 鋼製サッシ <input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある <input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある <input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ <input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている <input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある <input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある <input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽 <input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	修繕・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修 <input type="checkbox"/> エコ改修 <input type="checkbox"/> トイレ改修 <input type="checkbox"/> 法令適合 <input type="checkbox"/> 校内LAN <input type="checkbox"/> 空調設置 <input type="checkbox"/> 障害児等対策 <input type="checkbox"/> 防犯対策 <input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策 <input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策 <input type="checkbox"/> その他、内部改修工事			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修 <input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事 <input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検 <input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修 <input type="checkbox"/> 排水配管改修 <input type="checkbox"/> 消防設備の点検 <input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

	健全度
	0 / 100点

図 3-15：劣化状況調査票

3.3.2 評価結果（老朽化の現状）

表3-12: 建物情報一覧表

■ 築50年以上 □ 築30年以上 基準年: 2019

建物基本情報										
通し番号	学校調査番号	施設名	建物名	棟番号	固定資産台帳番号	用途区分		構造	階数	延床面積(m ²)
						学校種別	建物用途			
1	1353	鷹巣小学校	特別教室棟	024		小学校	校舎	RC	2	770
2	1353	鷹巣小学校	屋内運動場	013		小学校	体育館	RC	1	601
3	1354	川床小学校	管理教室棟	016		小学校	校舎	RC	3	1,758
4	1354	川床小学校	屋内運動場	013		小学校	体育館	RC	1	609
5	1356	伊唐小学校	管理教室棟	014-1		小学校	校舎	RC	2	738
6	1356	伊唐小学校	屋内運動場	014-2		小学校	体育館	RC	2	495
7	1362	城川内小学校	教室棟	008		小学校	校舎	RC	2	782
8	1362	城川内小学校	へき地集会室	006		小学校	体育館	RC	1	532
9	1363	平尾小学校	教室棟	009		小学校	校舎	RC	3	1,193
10	1363	平尾小学校	教室棟	024		小学校	校舎	RC	2	467
11	1363	平尾小学校	へき地集会室	012		小学校	体育館	RC	1	496
12	1364	蔵之元小学校	教室棟	001-4		小学校	校舎	S	2	212
13	1364	蔵之元小学校	教室棟	007		小学校	校舎	RC	2	405
14	1364	蔵之元小学校	教室棟	021		小学校	校舎	RC	3	1,032
15	1364	蔵之元小学校	へき地集会室	006		小学校	体育館	RC	1	480
16	1353	鷹巣小学校	教室棟	002		小学校	校舎	RC	2	650
17	1353	鷹巣小学校	教室棟、管理棟、特別教室棟	018-1		小学校	校舎	RC	3	1,195
18	1362	城川内小学校	教室棟	002-1		小学校	校舎	RC	2	558
19	1362	城川内小学校	教室棟	002-2		小学校	校舎	RC	3	360
20	1921	獅子島小学校	校	001		小学校	校舎	RC	2	663
21	4172	鷹巣中学校	管理教室棟	022		中学校	校舎	RC	2	850
22	4172	鷹巣中学校	教室棟	023		中学校	校舎	RC	3	2,279
23	4172	鷹巣中学校	屋内運動場	032-1		中学校	体育館	RC	1	803
24	4172	鷹巣中学校	地域・学校連携施設	032-2		中学校	体育館	RC	2	259
25	4173	川床中学校	管理教室棟	016		中学校	校舎	RC	3	1,472
26	4173	川床中学校	特別教室棟	023		中学校	校舎	RC	3	311
27	4173	川床中学校	屋内運動場	015		中学校	体育館	RC	1	636
28	4174	獅子島中学校	管理教室棟	017		中学校	校舎	RC	3	1,305
29	4174	獅子島中学校	特別教室棟	026		中学校	校舎	RC	2	252
30	4174	獅子島中学校	屋内運動場	030		中学校	体育館	RC	1	830
31	4175	長島中学校	管理棟	013		中学校	校舎	RC	3	1,581
32	4175	長島中学校	特別教室棟	022		中学校	校舎	W	1	153
33	4175	長島中学校	教室棟	031		中学校	校舎	RC	2	660
34	4175	長島中学校	屋内運動場	033		中学校	体育館	RC	1	1,137
35	4176	平尾中学校	教室棟	013		中学校	校舎	RC	1	120
36	4176	平尾中学校	管理棟	020		中学校	校舎	RC	2	1,578
37	4176	平尾中学校	へき地集会室	012		中学校	体育館	RC	1	682
38	4173	川床中学校	武道場	020		中学校	体育館	W	1	292
39	K027	長島町立学校給食センター	共同調理場	001-1		給食センター	給食センター	S	1	521
40	K027	長島町立学校給食センター	二階会議室	001-2		給食センター	給食センター	S	2	45
41	K027	長島町立学校給食センター	共同調理場	001-6		給食センター	給食センター	S	1	52

建築年度			構造躯体の健全性						劣化状況評価					備考	
西暦	和暦	築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度 (100点満点)
			基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の区分							
1986	S61	33	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1968	S43	51	旧	済	-	H12	13.9	長寿命	A	A	A	A	A	100	平成13年度大規模改修工事
1979	S54	40	旧	済	済	H21	27.2	長寿命	B	B	C	C	C	53	
1976	S51	43	旧	済	-	H21	20.9	長寿命	B	C	C	C	C	43	
1990	H2	29	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1990	H2	29	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1983	S58	36	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1973	S48	46	旧	済	-	H21	10.7	改築	B	C	C	C	C	43	
1973	S48	46	旧	済	済	H21	20	長寿命	C	C	C	C	C	40	
1998	H10	21	新	-	-			長寿命	A	A	B	B	B	84	
1974	S49	45	旧	済	-	H21	15.9	長寿命	C	B	C	C	C	50	
1993	H5	26	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1979	S54	40	旧	済	-	H21	24.5	長寿命	C	C	C	C	C	40	
1996	H8	23	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1975	S50	44	旧	済	-	H21	18.3	長寿命	B	C	C	C	C	43	
1964	S39	55	旧	済	済	H21		改築						0	改築計画あり
1974	S49	45	旧	済	済	H21		改築						0	改築計画あり
1967	S42	52	旧	済	-	H20		改築						0	改築計画あり
1968	S43	51	旧	済	-	H20		改築						0	改築計画あり
2013	H25	6	新	-	-			長寿命						0	平成25年度建築
1978	S53	41	旧	済	-	H16	20.5	長寿命	B	B	B	B	B	75	
1999	H11	20	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
1984	S59	35	新	-	-	H26	30	長寿命	B	B	B	B	B	75	
1984	S59	35	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1973	S48	46	旧	済	-	H20	18.7	長寿命	B	D	D	C	C	23	
1985	S60	34	新	-	-			長寿命	B	B	B	B	B	75	
1969	S44	50	旧	済	-	H20	15.9	長寿命	B	C	C	C	C	43	
1977	S52	42	旧	済	済	H20	10.9	改築	B	B	B	B	B	75	
1986	S61	33	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
1997	H9	22	新	-	-			長寿命	B	B	A	A	A	91	
1980	S55	39	旧	済	-	H21	21.4	長寿命	C	B	C	C	C	50	
1990	H2	29	新	-	-			長寿命	C	C	B	B	B	62	
2002	H14	17	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
2005	H17	14	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
1976	S51	43	旧	-	-			改築	B	B	C	C	C	53	
1987	S62	32	新	-	-			長寿命	C	B	B	B	B	72	
1971	S46	48	旧	済	-	H21	9.7	改築	C	C	C	C	C	40	
1973	S48	46	旧	-	-			改築						0	
1992	H4	27	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
1992	H4	27	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	
2011	H23	8	新	-	-			長寿命	A	A	A	A	A	100	

3.4 劣化調査総評

劣化等が進んでいると思われる、健全度が50点以下の建物は10棟あります（詳細は後述の表6-5に記載）。50点以下の建物は全て旧耐震基準であり、築年数が40年を超えているものがほとんどです。その中でも補強工事が行われているのは平尾小学校の教室棟のみで、それ以外は旧耐震基準のままであるため、耐震性が低い建物について老朽化が進んでいると考えられます。

最も劣化が進んでいると考えられるのは川床中学校の管理教室棟で、健全度は23点と低い値です。劣化状況評価では現地調査の対象建物のうち、唯一D判定が含まれています。

一方で、新耐震基準の建物はほとんどが健全度75点以上で比較的良好な状態であると考えられます。鷹巣小学校の屋内運動場について、平成13年度に大規模改修工事が行われているため、旧耐震基準にもかかわらず劣化状況評価の結果がすべてA（良好な状態）となっています。

また、学校別に見ると、建物の健全度がすべて75点以上であるのは、鷹巣小学校、伊唐小学校、鷹巣中学校、獅子島中学校、給食センターです。これらは新耐震基準の建物がほとんどですが、旧耐震基準の建物も比較的良好な状態にあります。一方、建物の健全度がすべて75点未満である学校は、川床小学校と平尾中学校です。この2つは学校全体で老朽化が進んでいると考えられます。

4. 学校施設整備の基本的な方針

4.1 学校施設長寿命化計画の基本方針

「長島町公共施設等総合管理計画」では、公共施設等の管理基本方針を図 4-1 のように3つ定めています。

① 公共施設等総合管理計画の基本方針

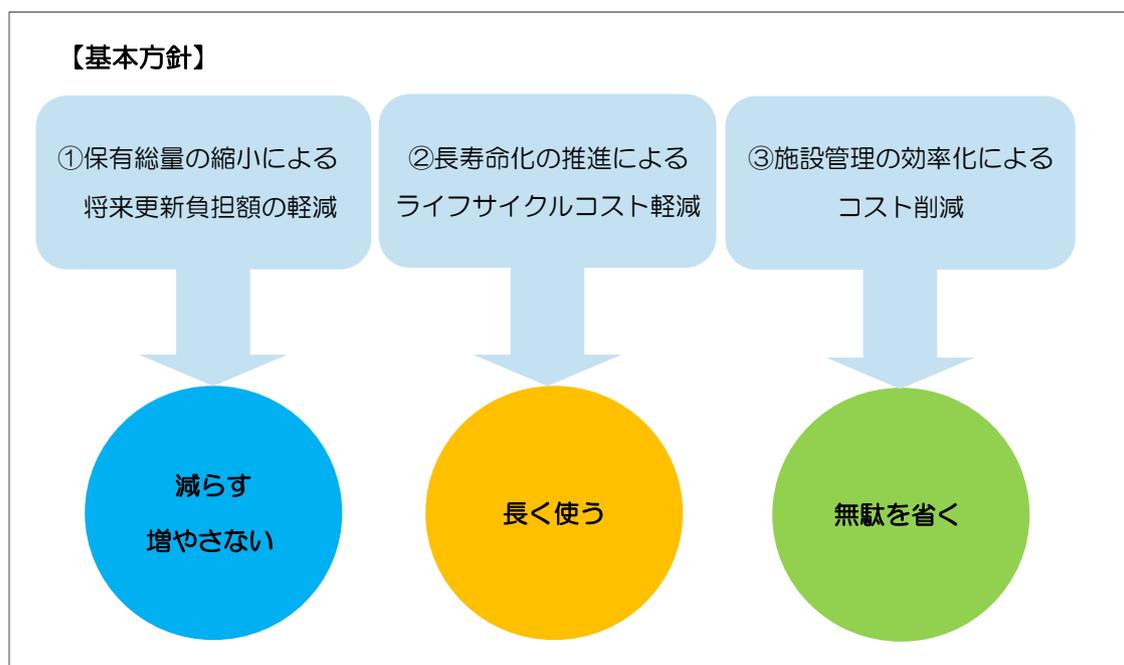


図 4-1：公共施設等の管理基本方針（長島町公共施設等総合管理計画より）

これを踏まえて、本計画の基本方針を次のように定めます。

② 学校施設の長寿命化計画の基本方針

- ・計画的な定期点検を実施し、予防保全型の修繕に切り替えていくことで施設の長寿命化を図ります（長く使う、無駄を省く）。
- ・学校の統合再編を計画的に実施し、閉校した学校の利活用を検討します（減らす・増やさない）。

4.2 学校施設の規模・配置計画等の方針

4.2.1 学校施設の規模

法令上、標準的な学校規模は学級数によって設定されており、小学校、中学校ともに12学級以上18学級以下とされています。本町において、国が定める標準的な規模の学校（適正規模校）はありません（表4-1）。本町の学校の75%は小規模校に当たり、残り25%は過小規模校にあたります。しかし、国が定める標準は「地域の実態その他により特別の事情のあるときは、この限りでない。」とされており、今後の人口減少、少子高齢化の課題も考慮しつつ、本町の状況に即した学校施設の規模を考えていく必要があります。

表4-1：長島町の学校規模分類表

	過小規模校	小規模校	適正規模校
学級数	1～5	6～11	12～18
小学校	伊唐小学校※ 獅子島小学校	鷹巣小学校 川床小学校 城川内小学校 平尾小学校 蔵之元小学校	
学級数	1～2	3～11	12～18
中学校	獅子島中学校	鷹巣中学校 川床中学校 長島中学校 平尾中学校	

資料：公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引

※伊唐小学校について

本町で唯一、完全複式学級で編成されており、過小規模校の中でもさらに小規模化が進んでいると考えられます。

4.2.2 学校施設の適正配置の方針

「長島町第2次総合振興計画」によれば、学校の適正配置について小学校は複式学級の解消、中学校は1学級30人程度、1学年3学級程度にすることを方針としています。具体的な方策としては、①学校の統合再編、②通学区域の再編が考えられます。

① 学校の統合再編

隣接して小規模な学校がある場合、規模や通学条件などを考慮して統合再編すること。

② 通学区域の再編

近隣に規模の大きな学校がある場合、対象となる規模の小さな学校の通学区域に規模の大きな学校の通学区域の一部を編入すること。

児童・生徒数は今後も減少することが予測され、学校規模はさらに縮小すると考えられます。そのため、本町において学校の統合再編は避けて通れない課題です。現時点において、学校の統合再編については検討している段階です。統合再編を検討する上で、児童・生徒数の推移、通学距離、学校施設の老朽化を十分に考慮する必要があります。

※通学距離について

通学距離については統合再編により通学区域が広くなることから、安全性への配慮も必要です。文部科学省は通学距離について、小学校は4km未満、中学校は6km未満と基準を設けています。現状では、小学校からの距離が4km以上ある地域が一部存在し、中学校からの距離が6km以上ある地域はほとんどありません。しかし、統合再編を進めることによって、学校からの距離がこれらの基準を超える地域が増えると予想されます。このような課題に対して、他地域の例を見るとスクールバスの導入が多く見られます。

4.3 改修等の基本的な方針

(1) 学校施設の長寿命化の方針

本町ではこれまで、不具合等の発生の都度に修繕を行う「事後保全型」の管理をしておりました。しかし、施設の長寿命化と財政負担の低減・平準化を図るためには、事前に状況を把握した上で計画的に修繕を実施する「予防保全型」の管理へ転換する必要があります。

このようなことから、学校施設を快適に、より長く使用するために、大規模改造と長寿命化改修を組み合わせることで、定期的な改修を行うことで、不具合を未然に防ぐ「予防保全型（長寿命化型）」への転換を目指します。したがって、学校施設を健全な状態に保ちつつ、できるだけ長く利用するため、築 20 年と築 60 年に大規模改造を行い、築 40 年で長寿命化改修を行うことを基本方針とします。

(2) 目標耐用年数、改修周期の設定

建物の税法上の耐用年数は RC 造で 47 年、S 造で 34 年となっています。これは、減価償却を算定するための耐用年数です。物理的な耐用年数は、RC 造では、適切な維持管理がなされコンクリートおよび鉄筋の強度が確保された場合には 70～80 年程度とされています（建築物の耐久計画に関する考え方（社団法人日本建築学会））。さらに、技術的には 100 年以上もたせることができるとされています。また、鉄骨造では錆に対するメンテナンスを適切に実施することにより、RC 造と同程度の長寿命化を図ることが可能とされています。

以上のことから、建替えまでの目標耐用年数を約 80 年と設定します。また、大規模改造は築 20 年と築 60 年に、長寿命化改修は築 40 年に行うと設定します。また、各部位の改修周期は「建物のライフサイクルコスト（一般社団法人建築保全センター）」の標準耐用年数を参考に約 20 年と設定します。

「建物のライフサイクルコスト（一般社団法人建築保全センター）」の標準耐用年数

外壁	20～30 年	屋上防水	20～30 年
電気設備 受変電設備	30 年	電灯設備	20 年
機械設備 空調設備	20 年	給排水設備	20 年

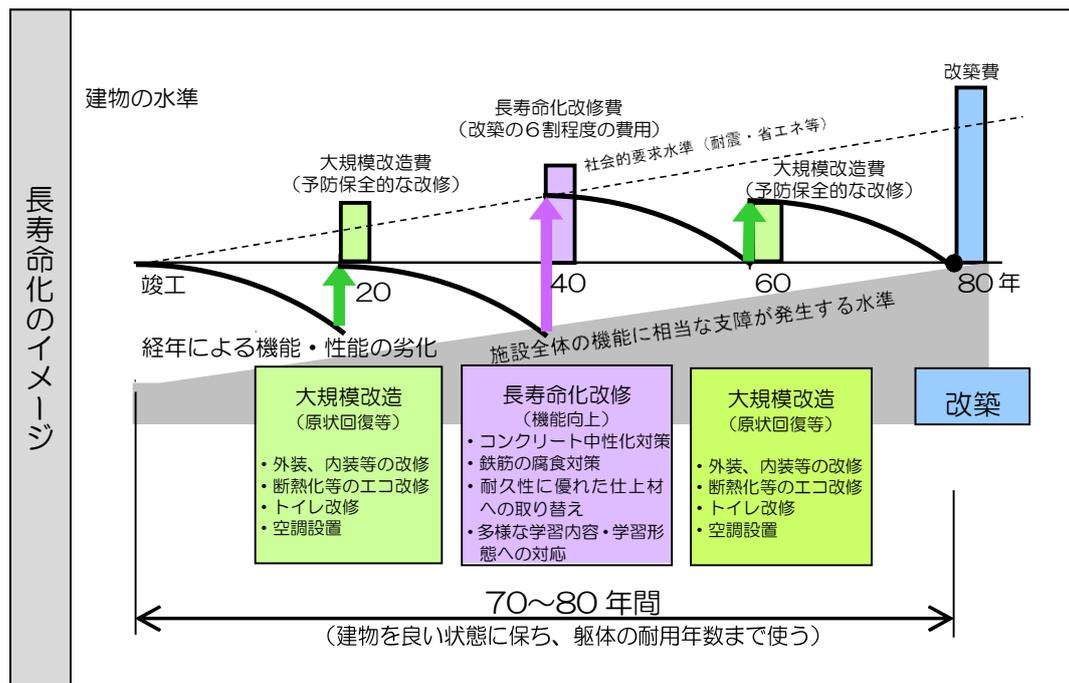
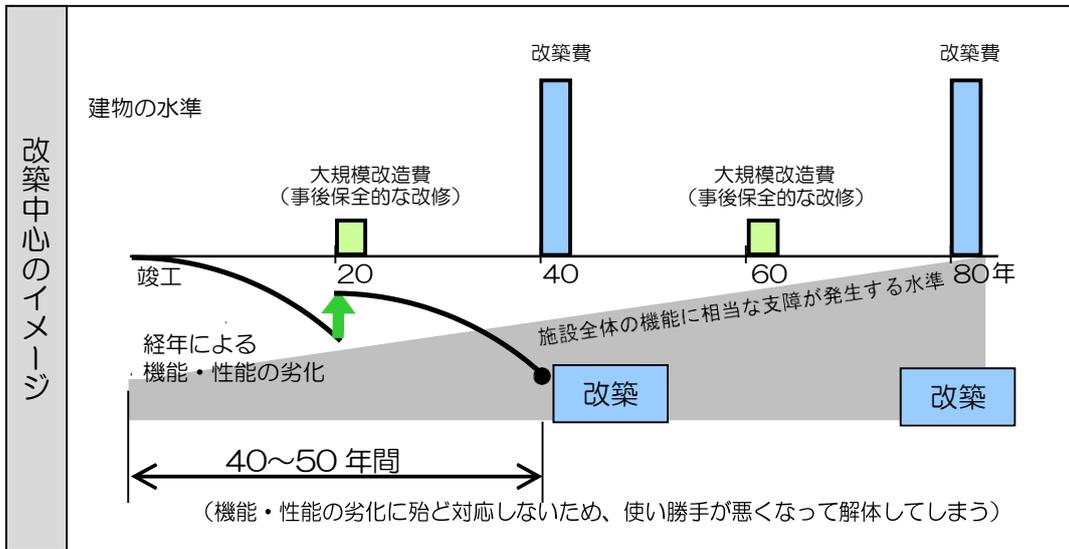


図 4-2：改築中心から長寿命化への転換のイメージ
(学校施設の長寿命化計画策定に係る手引より)

5. 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

5.1 改修等の整備水準

長寿命化改修にあたっては、単に建築時と同様の状態に戻すのではなく、安全性、機能性、環境性を確保するための改修を行います。安全性、機能性の確保のためには、構造躯体の長寿命化やライフラインの更新により建物の耐久性を高め、維持管理コストの縮減、計画的な支出による財政の平準化を図ります。環境性の確保のためには、多様な学習環境の提供をはじめ、ICT教育など現代社会の要請に応えるための改修を行います。

長寿命化改修では、整備水準を高めるほどコストは高くなります。しかし、建物の機能性を向上させることによって、建物寿命の延長や光熱水費の縮減につながります。整備水準については表 5-1 を標準としますが、校舎の状況や改修内容により整備水準を柔軟に変更します。

表 5-1：施設の整備水準

整備レベル					
外部仕上げ	屋根/屋上	アスファルト防水 (保護材・断熱材敷設)	シート防水 (保護材・断熱材敷設) アスファルト防水 (保護材)	シート防水 (断熱無し)	トップコート塗替
	外壁	フッ素系塗料	シリコン系塗料	ウレタン系塗料	アクリル系塗料
		外断熱	内断熱		断熱無し
	外部開口部	サッシ交換 (ペアガラス等)	サッシ交換 (強化ガラス)	既存サッシ 開閉調整程度 強化ガラス交換	シーリング打替え 開閉調整程度
	バリアフリー	手摺・スロープ設置			既存のまま
		段差解消			既存のまま
		手摺等のステンレス化		手摺の 亜鉛メッキ化	既存の再塗装
		エレベーター設置	設置しない		
		点字ブロック	設置しない		
	その他	日射抑制(庇等)	設置しない		
内部仕上げ	内部仕上	内装の撤去・更新 木質化		床補修 壁・天井塗替え (部分補修)	既存のまま
		黒板・ロッカー等更新		黒板再利用、ロッカー等更新	
電気設備	受変電	太陽光発電	通常受電		
	照明器具	LED照明に交換 昼光制御センサー付	LED照明に交換 センサー無し		
機械設備	給排水	給水設備改修			既存補修
	衛生	トイレ内装の撤去・更新	内装の撤去・更新	床補修 壁・天井塗替え	既存のまま
		洗浄機能付き便座	洋式化		既存のまま
		節水型便器 小便器(センサー)	節水型		一般型
空調	教室空調機設置 換気扇設置	天井扇・換気扇設置		設置無し	
防災	耐震	非構造部材の耐震化			

5.2 維持管理の項目・手法等

学校施設の長寿命化を図るには、日常的・定期的に施設の清掃や点検を行うことが必要です。これらを行うことによって、機能や性能を良好に保つことができ、さらには異変の早期発見や建物の劣化状況の把握につながります。加えて、改修計画等に反映することによって、計画的な維持管理を実施し、施設の機能を長期にわたって良好に保つことができます。

表 5-2：維持管理項目一覧表

点検分類	項目	内容と点検方法等	期間	点検者
日常的な維持管理のための点検	清掃	・汚れの除去および汚予防により仕上げ材を保護し、快適な環境を維持する。	毎日	各学校
	保守	・点検結果に基づき、建築物等の機能の回復または危険防止のための消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業を行う。	毎日	各学校
	日常点検	・目視あるいは触るなどの簡易な方法によって巡回しながら日常的に点検を行う。 ・機器および設備について、異常の有無や兆候を発見する。	毎月	各学校
定期的な維持管理のための点検	自主点検	・機器および設備の破損や腐食状況を把握し、修理・修繕等を行う。	1年	教育委員会
	定期点検	・自主点検では確認できない箇所や、法的に定められた箇所に関して、専門業者により点検を行う。	建築物 3年 設備等 2年	教育委員会
臨時的な維持管理のための点検	臨時点検	・建築物等の損傷、変形、腐食、異臭他の異常の有無を調査し、必要な措置を検討する。	随時	各学校

6. 長寿命化の実施計画

6.1 実施計画の条件設定

長寿命化の実施計画を決定するための事業費の算定条件については、表 6-1 の改築単価をもとに金額を概算することとします。また、平成 25 年度に建設された獅子島小学校の実績と比較しても差がないことから、今回は改築単価を 26 万円としました（表 6-2）。

表 6-1：改築単価算出結果

	H26	H27	H28	H29	H30
学校数	18	18	11	15	13
床面積 (㎡)	18,038	23,383	14,850	24,866	15,555
工事費 (万円)	430,324	647,499	374,230	643,872	463,493
1㎡あたりの金額	238,565	276,910	252,007	258,937	297,970
平均 264,878 円/㎡ (改め 260,000 円/㎡)					

資料：国交省・建築着工統計調査（鹿児島県）

表 6-2：平成 25 年獅子島小学校校舎建設工事実績

延床面積 (㎡)	工事費 (万円)	単価 (円/㎡)
928.92*	24,873	267,767

※獅子島幼稚園を含む延床面積

また、大規模改造単価は改築単価の 25%、長寿命化改修単価は改築単価の 60%としました（表 6-3）。さらに、部位修繕費用の算出のために、表 6-4 のとおりに改築費用に対する各部位の割合を設定しました。劣化状況評価に C または D があるものについて、この割合をもとに部位修繕費用を算出しました。

表 6-3：大規模改造単価と長寿命化改修単価

	改築単価に対する割合	単価 (円/㎡)
大規模改造	25%	65,000
長寿命化改修	60%	156,000

表 6-4：改築費用に対する部位別割合 (%)

部位	校舎	体育館
屋根/屋上	3.5	3.0
外壁	5.1	3.5
内部仕上	5.6	5.6
電気設備	4.0	4.8
機械設備	3.7	1.7

6.2 優先順位づけと実施計画

延床面積 200 m²以上の小学校 15 棟、中学校 17 棟、給食センター3 棟の合計 35 棟の建物に対して行った劣化状況評価について、健全度が 50 点以下の建物 10 棟を表 6-5 に示しました。健全度が低いほど劣化等が進んでいると考えられ、優先的に改修等を行う必要があります。

表 6-5：健全度 50 点以下の建物一覧

通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積	築年数	健全度
25	川床中学校	管理教室棟	016	RC	3	1,472	46	23
9	平尾小学校	教室棟	009	RC	3	1,193	46	40
13	蔵之元小学校	教室棟	007	RC	2	405	40	40
37	平尾中学校	へき地集会室	012	RC	1	682	48	40
4	川床小学校	屋内運動場	013	RC	1	609	43	43
8	城川内小学校	へき地集会室	006	RC	1	532	46	43
15	蔵之元小学校	へき地集会室	006	RC	1	480	44	43
27	川床中学校	屋内運動場	015	RC	1	636	50	43
11	平尾小学校	へき地集会室	012	RC	1	496	45	50
31	長島中学校	管理棟	013	RC	3	1,581	39	50

※鷹巣小学校の教室棟(002)および教室棟、管理棟、特別教室棟(018-1)、城川内小学校の教室棟(002-1, 002-2)は改築計画があり、現地調査対象外のため健全度の判定を行っておりません。

本町の学校施設について、すでに改築・改修時期を過ぎているもの、これから改築・改修時期を迎えるものがあり、どの建物を優先的に改築・改修していくかが課題となっています。

すでに改築・改修時期を過ぎている建物は、健全度50点以下の建物を優先的に整備していきます。これから改築・改修時期を迎える建物は、その時期に工事を行うことが望ましく、基本的には改築・改修時期を迎える際に工事を行います。

しかし、今後10年間はこれら2つの改築・改修時期が重なるため、工事費用が高くなることが考えられます。その場合は、1年間の工事費用が高くなりすぎないように、改築・改修時期をずらして計画を立てます。なお、改築計画がある建物については改築計画上の順番等を考慮します。

また、今後10年以内に改築・改修時期を迎えない建物について、劣化状況評価にCまたはDがある建物は部位修繕※を行います。

※部位修繕費用が算出される条件：

以下の2つを満たす場合に部位修繕費用が算出されます。

- ①劣化状況評価に1つでもCまたはDがある。
- ②今後10年以内に改築・改修をしない。

6.3.2 標準的な長寿命化型の維持・更新コスト

(1) コスト算出条件

更新周期：80年	改築単価：260,000円/㎡
改築工事期間：2年（金額も2年に按分）	
改修周期：20年（大規模改造）	大規模改造単価：65,000円/㎡
40年（長寿命化改修）	長寿命化改修単価：156,000円/㎡
施設関連費（修繕費、光熱水費）：33,000,000円（直近5年間の平均値を採用）	

(2) 標準的な長寿命化型の維持・更新コスト

標準的な長寿命化型の「予防保全型」へ転換した場合、40年間の維持・更新コストは総額97億円、年平均2.4億円と試算されました。従来型と比較すると、40年間の維持・更新コストは約13億円（約12%）節減することができます。

しかし、約70%の学校施設について築年数が30年を超えているため、今後10年間に改築、または長寿命化改修を行う必要があります。対象となる学校施設すべてに対して工事を行うとすると、今後10年間の維持・更新コストは年間平均4.2億円と試算されました。これは過去5年間の施設関連費の平均額の14倍に上ります。保全方法を長寿命化型へ転換したとしても、高額な維持・更新コストがかかるため、対応策を検討する必要があります。

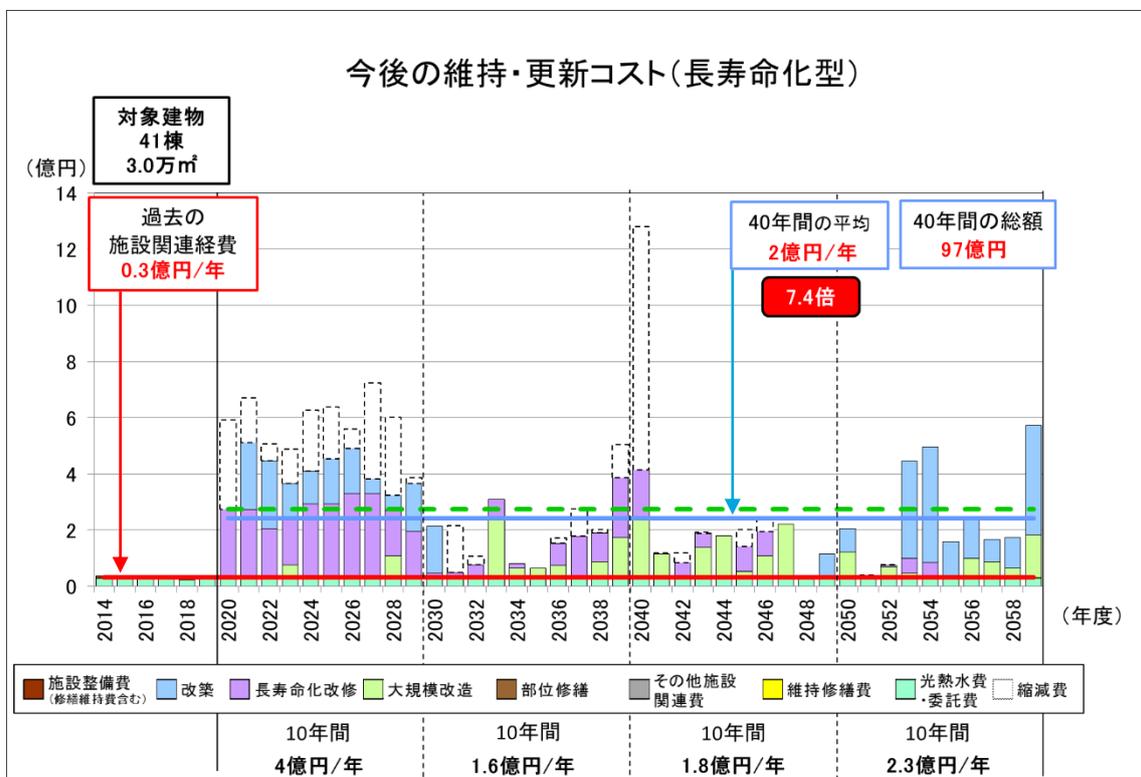


図6-2：コスト試算結果（長寿命化型）

表6-6: 今後10年間の工事費内訳(長寿命化型)

通し番号	施設名	建物名	棟番号	工事計画(工事費、単位:千円)									
				2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
小学校	1 鷹巣小学校	特別教室棟	024									60,060	60,060
		屋内運動場	013									29,768	29,768
	16 鷹巣小学校	教室棟	002		84,500	84,500							
		教室棟、管理棟、特別教室棟	018-1		155,350	155,350							
	3 川床小学校	管理教室棟	016					137,124	137,124				
		屋内運動場	013			47,502	47,502						
	5 伊唐小学校	管理教室棟	014-1										
		屋内運動場	014-2										
	7 城川内小学校	教室棟	008									60,996	60,996
		へき地集会室	006				69,160	69,160					
		教室棟	002-1						72,540	72,540			
		教室棟	002-2				46,800	46,800					
	9 平尾小学校	教室棟	009	93,054	93,054								
		教室棟	024										
	11 蔵之元小学校	へき地集会室	012			38,688	38,688						
		教室棟	001-4										
		教室棟	007	31,590	31,590								
		教室棟	021										
	14 蔵之元小学校	教室棟	021										
		へき地集会室	006			37,440	37,440						
20 獅子島小学校	校舎	001											
中学校	21 鷹巣中学校	管理教室棟	022							66,300	66,300		
		教室棟	023										
	23 鷹巣中学校	屋内運動場	032-1							62,634	62,634		
		地域・学校連携施設	032-2							20,202	20,202		
	25 川床中学校	管理教室棟	016	114,816	114,816								
		特別教室棟	023							24,258	24,258		
		屋内運動場	015			49,608	49,608						
		武道場	020								37,960	37,960	
	31 長島中学校	管理棟	013					123,318	123,318				
		特別教室棟	022	1,368						684		684	684
		教室棟	031				42,900						
		屋内運動場	033								73,905		
	35 平尾中学校	教室棟	013								15,600	15,600	
		管理棟	020							123,084	123,084		
36 平尾中学校	へき地集会室	012						88,660	88,660				
	管理教室棟	017										169,650	
28 獅子島中学校	特別教室棟	026									12,482	12,482	
	屋内運動場	030											
給食センター	40 長島町立学校給食センター	共同調理場	001-1										
		二階会議室	001-2										
		共同調理場	001-6										
工事費計				240,828	479,310	413,088	332,098	376,402	421,642	458,362	350,038	291,454	333,639
修繕費				6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
光熱水費				26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500
総額				273,828	512,310	446,088	365,098	409,402	454,642	491,362	383,038	324,454	366,639
10年間の総額				4,026,862									

- 改築
- 長寿命化改修
- 大規模改造
- 部位修繕

(単位:千円)

6.3.3 統合再編を行った場合の維持・更新コスト（その1）

統合再編（案）：

伊唐小学校を鷹巣小学校に統合再編、蔵之元小学校と城川内小学校を統合再編し長島中学校校舎を利用、獅子島中学校以外の中学校を1つに統合再編し、校舎は新設する。

(1)コスト算出条件

改築工事期間：2年（金額も2年に按分） 改築単価： 260,000 円/㎡

改修周期：20年（大規模改造） 大規模改造単価： 65,000 円/㎡

40年（長寿命化改修） 長寿命化改修単価： 156,000 円/㎡

部位修繕：統合再編を行う学校に対しては50%程度の修繕とする

最も劣化が著しい川床中学校管理教室棟については60%程度の修繕とする

新規中学校の建設年度：2035～2036年に建設と仮定

施設関連費（修繕費、光熱水費）：

- ・統合再編前の施設関連費は従来型と同様
- ・統合再編後の施設関連費は各学校の過去5年間の平均値を採用
- ・新規中学校は学校施設の㎡数比から算出（獅子島小学校を参考）

表 6-7：統合再編後の学校ごとの施設関連費（過去5年間の平均額）

施設名	施設関連費（円/年）		施設名	施設関連費（円/年）	
	修繕費	光熱水費		修繕費	光熱水費
鷹巣小学校	506,448	1,939,593	長島西小学校(仮)*	320,911	1,855,727
川床小学校	615,715	1,451,277	新規中学校	544,904	2,909,389
平尾小学校	494,681	1,264,642	獅子島中学校	339,445	2,206,954
獅子島小学校	62,775	1,234,752	学校給食センター	-	6,742,842
合計 (改め)	修繕費 2,884,879 (290万円)		光熱水費 19,605,176 (2000万円)		

※長島中学校校舎を利用

資料：長島町教育委員会

(2)標準的な長寿命化型の維持・更新コスト

統合再編案の内容に基づいて、維持・更新コストを試算した結果、40年間の総額は75億円、年平均は1.9億円となりました。従来型と比較すると約35億円（約32%）の節減、長寿命化型と比較しても約22億円（約23%）の節減となります。しかし、学校の統合再編後に利用しない施設の解体費用や、利活用する施設の維持管理費用、教室数不足による増築費用（長島中学校の利用）は含まれていません。

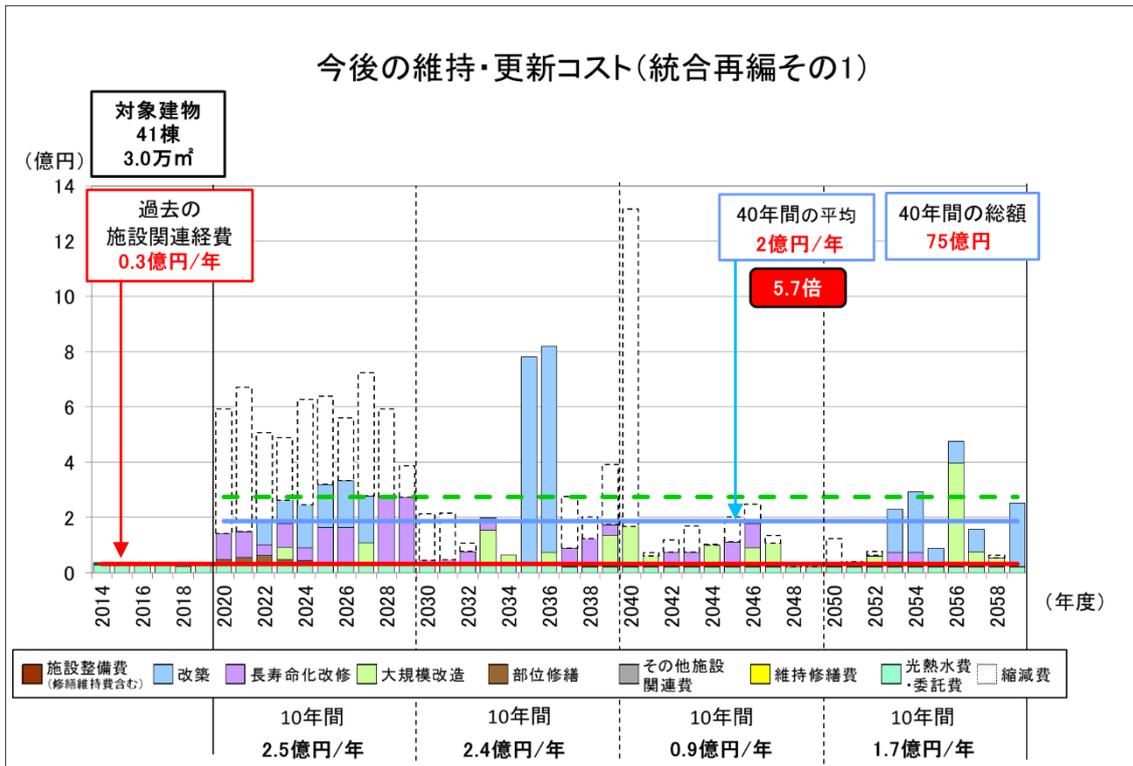


図 6-3：コスト試算結果 (統合再編その 1)

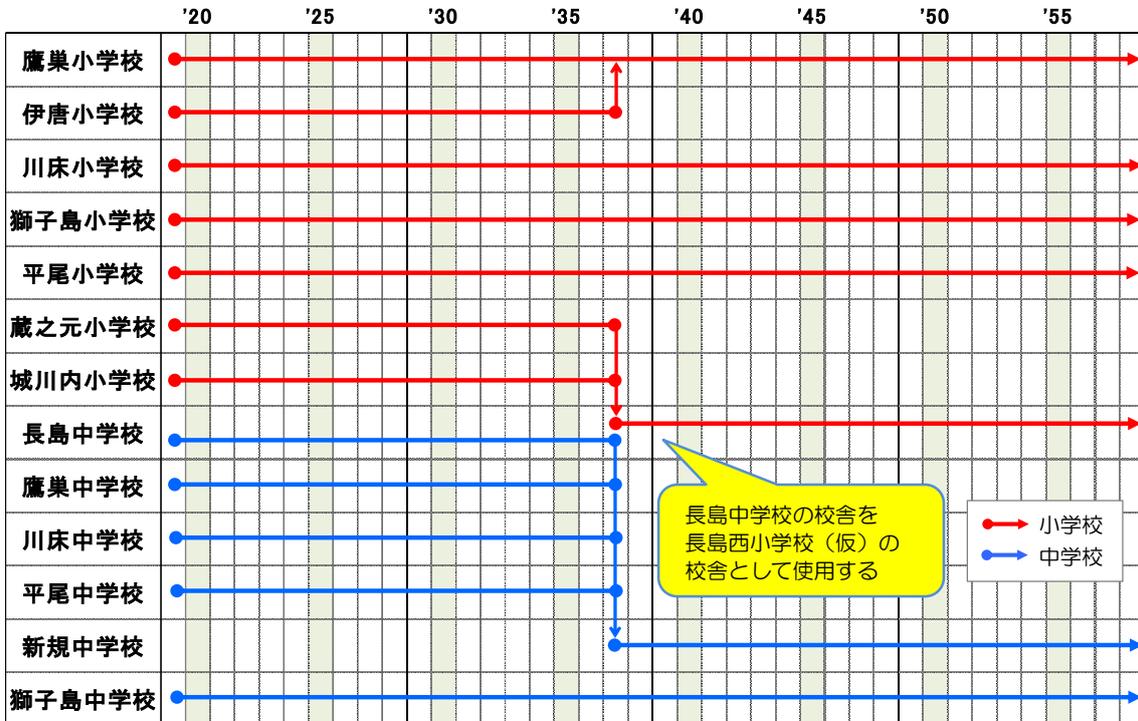


図 6-4：学校施設状況 (統合再編その 1)

表6-8: 今後10年間の工事費内訳(統合再編その1)

通し番号	施設名	建物名	棟番号	工事計画(工事費、単位:千円)									
				2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029
小学校	鷹巣小学校	特別教室棟	024									60,060	60,060
		屋内運動場	013									29,767	29,767
		教室棟	002			84,500	84,500						
		教室棟、管理棟、特別教室棟	018-1					155,350	155,350				
	川床小学校	管理教室棟	016									137,124	137,124
		屋内運動場	013				47,502	47,502					
	伊唐小学校	管理教室棟	014-1										
		屋内運動場	014-2										
	城川内小学校	教室棟	008										
		へき地集会室	006				5,394	5,394					
		教室棟	002-1										
	平尾小学校	教室棟	009	93,054	93,054								
		教室棟	024										
	蔵之元小学校	へき地集会室	012			38,688	38,688						
		教室棟	001-4										
		教室棟	007			5,765	5,765						
		教室棟	021										
		へき地集会室	006				4,867	4,867					
	獅子島小学校	校舎	001										
	中学校	鷹巣中学校	管理教室棟	022									
教室棟			023										
屋内運動場			032-1										
地域・学校連携施設			032-2										
川床中学校		管理教室棟	016	14,084	14,084	14,084							
		特別教室棟	023										
		屋内運動場	015						6,449	6,449			
		武道場	020										
長島中学校		管理棟	013						123,318	123,318			
		特別教室棟	022	1,368		684			684	684			
		教室棟	031				42,900						
		屋内運動場	033								73,905		
平尾中学校		教室棟	013								1,037	1,037	
		管理棟	020										
獅子島中学校	へき地集会室	012		8,245	8,245								
	管理教室棟	017							169,650	169,650			
長島町立学校給食センター	特別教室棟	026									12,482	12,482	
	屋内運動場	030											
給食センター	共同調理場	001-1											
	二階会議室	001-2											
	共同調理場	001-6											
工事費計				108,506	115,383	151,966	229,616	213,113	285,801	300,101	244,592	240,470	239,433
修繕費				6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
光熱水費				26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500
総額				141,506	148,383	184,966	262,616	246,113	318,801	333,101	277,592	273,470	272,433
10年間の総額				2,458,981									

- 改築
- 長寿命化改修
- 大規模改造
- 部位修繕

(単位:千円)

6.3.4 統合再編を行った場合の維持・更新コスト（その2）

統合再編（案）：

獅子島小学校、獅子島中学校以外の小中学校を、1つの義務教育学校に統合再編する。
義務教育学校の校舎は新設する。

(1) コスト算出条件

改築工事期間：2年（金額も2年に按分） 改築単価： 260,000 円/㎡
改修周期：20年（大規模改造） 大規模改造単価： 65,000 円/㎡
 40年（長寿命化改修） 長寿命化改修単価： 156,000 円/㎡
部位修繕：統合再編を行う学校に対しては50%程度の修繕とする
 最も劣化が著しい川床中学校管理教室棟については60%程度の修繕とする
新規義務教育学校の建設年度：2035～2036年に建設と仮定
施設関連費（修繕費、光熱水費）：

- ・今後の施設関連費として各学校の過去5年間の平均値を採用
- ・統合再編後の施設関連費は学校施設の㎡数比から算出（鷹巣小学校を参考）

表 6-9：統合再編後の学校ごとの施設関連費（過去5年間の平均額）

施設名	施設関連費（円/年）		施設名	施設関連費（円/年）	
	修繕費	光熱水費		修繕費	光熱水費
獅子島小学校	62,775	1,234,752	新規義務教育学校	675,899	4,848,982
獅子島中学校	339,445	2,206,954	給食センター	-	6,742,842
合計 (改め)	修繕費 1,078,119 (110万円)		光熱水費 15,033,530 (1500万円)		

資料：長島町教育委員会

(2) 標準的な長寿命化型の維持・更新コスト

統合再編案の内容に基づいて、維持・更新コストを試算した結果、40年間の総額は44億円、年平均は1.1億円となりました。従来型と比較すると約66億円（約60%）の節減、長寿命化型と比較しても約53億円（約55%）の節減となります。

しかし、新規義務教育学校に統合再編したあとの旧小学校と旧中学校の校舎の解体費用や、利活用する場合の維持管理費用は含まれていません。また、1つの義務教育学校に統合再編する場合、学校の建設費用が高く、その後の大規模改造費用、長寿命化改修費用も高くなります。建築、改修を行う年度に金銭的負担が大きく、これをどう解消するかが課題となります。

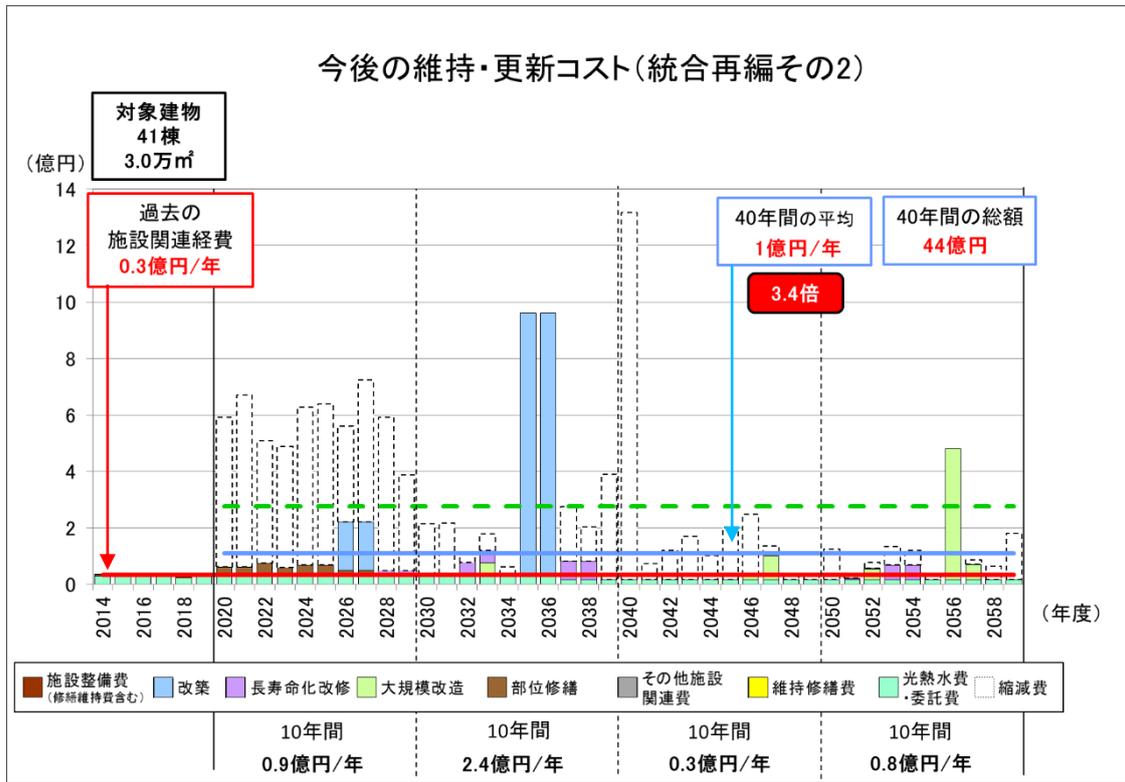


図 6-5：コスト試算結果(統合再編その2)

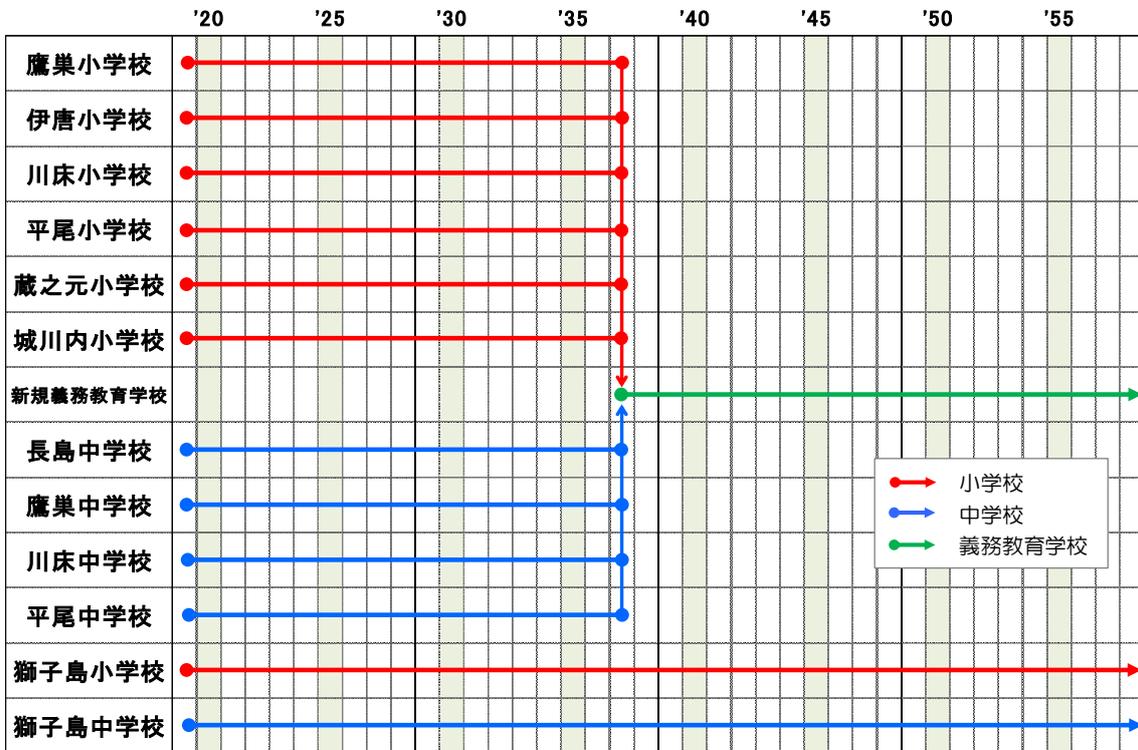


図 6-6：学校施設状況(統合再編その2)

表6-10: 今後10年間の工事費内訳(統合再編その2)

通し番号	施設名	建物名	棟番号	工事計画(工事費、単位:千円)										
				2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	
小学校	鷹巣小学校	特別教室棟	024											
		屋内運動場	013											
		教室棟	002											
		教室棟、管理棟、特別教室棟	018-1											
	川床小学校	管理教室棟	016								15,197	15,197		
		屋内運動場	013						6,175	6,175				
	伊唐小学校	管理教室棟	014-1											
		屋内運動場	014-2											
	城川内小学校	教室棟	008											
		へき地集会室	006			5,394	5,394							
		教室棟	002-1											
		教室棟	002-2											
	平尾小学校	教室棟	009			16,982	16,982							
		教室棟	024											
	蔵之元小学校	へき地集会室	012						4,868	4,868				
		教室棟	001-4											
		教室棟	007	5,765	5,765									
		教室棟	021											
	獅子島小学校	へき地集会室	006			4,867	4,867							
		校舎	001											
中学校	鷹巣中学校	管理教室棟	022											
		教室棟	023											
		屋内運動場	032-1											
		地域・学校連携施設	032-2											
	川床中学校	管理教室棟	016	14,084	14,084	14,084								
		特別教室棟	023											
		屋内運動場	015						6,449	6,449				
		武道場	020											
	長島中学校	管理棟	013						17,264	17,264				
		特別教室棟	022								855	855		
		教室棟	031											
		屋内運動場	033											
	平尾中学校	教室棟	013								1,037	1,037		
		管理棟	020										3,589	3,589
獅子島中学校	へき地集会室	012	8,245	8,245										
	管理教室棟	017								169,650	169,650			
	特別教室棟	026										12,482	12,482	
	屋内運動場	030												
給食センター	長島町立学校給食センター	共同調理場	001-1											
		二階会議室	001-2											
		共同調理場	001-6											
工事費計				28,094	28,094	41,328	27,244	34,757	34,757	186,740	186,740	16,071	16,071	
修繕費				6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500
光熱水費				26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500	26,500
総額				61,094	61,094	74,328	60,244	67,757	67,757	219,740	219,740	49,071	49,071	
10年間の総額				929,896										

- 改築
- 長寿命化改修
- 大規模改造
- 部位修繕

(単位:千円)

6.4 長寿命化および統合再編の総評

6.3 のコスト試算結果を表 6-11 にまとめました。

表 6-11：コスト試算結果まとめ

維持・更新	内容	40年間のコスト	学校数	備考
従来型	事後保全型 既存建物をすべて使用	改築：78 億 大規模改造：19 億 施設関連費：13 億	小学校 7 校 中学校 5 校	・改築の際の解体費用は 含まれない
		計：110 億		
長寿命化型	予防保全型 既存建物をすべて使用	改築：32 億 長寿命化改修：35 億 大規模改造：18 億 部位修繕：300 万 施設関連費：12 億	小学校 7 校 中学校 5 校	・改築の際の解体費用は 含まれない
		計：97 億		
統合再編 その 1	予防保全型 小学校： 鷹巣小+伊唐小 蔵之元+城川内小 (長島中校舎を使用) 中学校： 獅子島中以外を統合再編 (中学校を新設)	改築：31 億 長寿命化改修：18 億 大規模改造：14 億 部位修繕：1 億 施設関連費：11 億	小学校 5 校 中学校 2 校	・改築や未使用の建物の 解体費用は含まれない ・教室数不足による増築 費用は含まれない ・利活用する場合の維持 管理費用は含まれない
		計：75 億		
統合再編 その 2	予防保全型 獅子島以外の小中学校を 統合再編 (義務教育学校を新設)	改築：22 億 長寿命化改修：4 億 大規模改造：7 億 部位修繕：2 億 施設関連費：9 億	小学校 1 校 中学校 1 校 義務教育 学校 1 校	・改築や未使用の建物の 解体費用は含まれない ・利活用する場合の維持 管理費用は含まれない ・現地調査対象外の建物 について部分改修費用は 算出されない
		計：44 億		

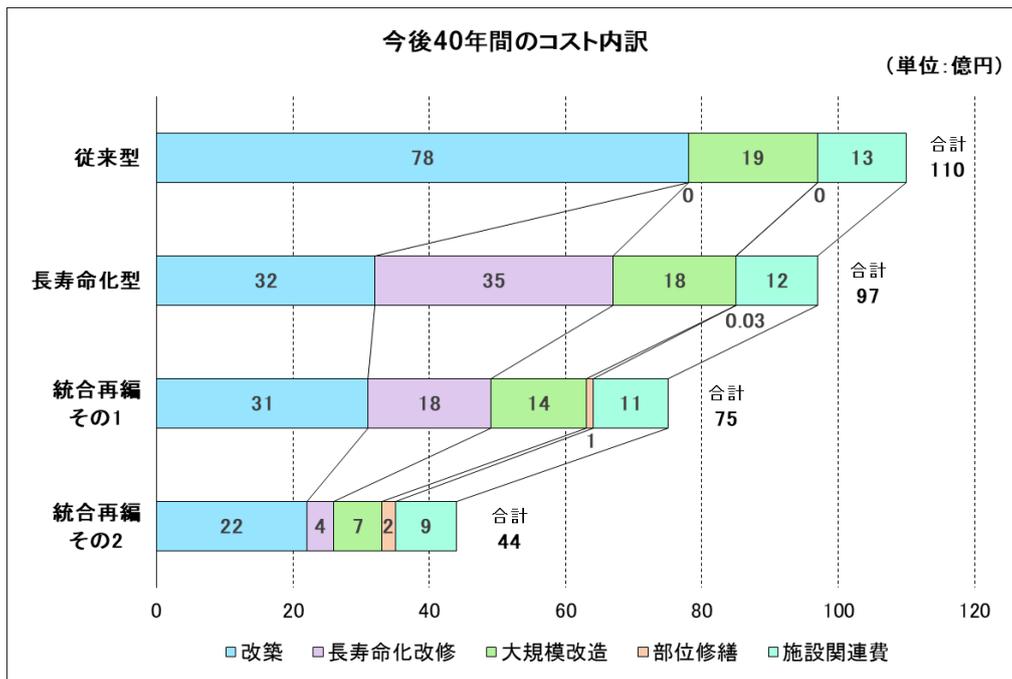


図 6-7：今後 40 年間のコスト比較（コスト試算結果より）

■従来型→長寿命化型への転換

改築費用が 46 億円削減、長寿命化改修費用が 35 億円増額、大規模改造費用が 1 億円削減、部位修繕費用が 300 万円の増額、施設関連費が 1 億円削減となり、全体で約 13 億円削減できます。学校数は変わらないため、大規模改造費用と施設関連費（光熱水費など）はほとんど変わらない見込みです。

■従来型→統合再編その 1 への転換

改築費用が 47 億円の削減、長寿命化改修費用が 18 億円の増額、大規模改造費用が 5 億円の削減、部位修繕費用が 1 億円の増額、施設関連費（光熱水費など）が 2 億円の削減となり、全体で約 35 億円削減できます。統合再編により小中学校 5 校を使用しなくなるため、今後の改修費、維持費がかなり削減され、長寿命化型に比べて約 22 億円削減されます。

■従来型→統合再編その 2 への転換

改築費用が 56 億円の削減、長寿命化改修費用が 4 億円の増額、大規模改造費用が 12 億円の削減、部位修繕費用が 2 億円の増額、施設関連費は 4 億円の削減となり、全体で約 66 億円削減できます。義務教育学校 1 校への統合再編となるため、既存建物のほとんどを学校施設として使用しなくなることによって今後の改修費、維持費が大幅に削減されます。その結果、長寿命化型に比べて約 53 億円の削減となります。

7. 長寿命化計画の継続的運用の方針

7.1 情報基盤の整備と活用

本計画を推進する上では、学校施設における情報の蓄積が重要となります。そのため、学校施設の建物基本情報や工事履歴、修繕履歴、日常点検や業務委託による各種点検履歴を毎年度更新しながら一元管理することとします。蓄積した学校施設情報は、予防保全型のコスト算定や継続的な施設管理に使用し、今後の改築や改修計画に活用します。

7.2 推進体制の整備

公共施設等総合管理計画を踏まえ、各学校と連携しながら維持管理を行い、必要な改修に取り組む必要があります。しかし、他の公共施設の維持管理、本町の財政状況、学校の統合再編など、担当部署のみで対処することが難しい課題があります。今後は、教育総務課が中心となって関係部署と協議・調整を行い、本計画の取組を進めていきます。

7.3 フォローアップ

本計画に基づき、学校施設整備を進めていくためには、計画（Plan）→実施（Do）→評価（Check）→改善（Action）のPDCAサイクルを確立することが重要です。

計画（P）：施設の現状を把握した上で、それを踏まえた実施計画を策定する。

実施（D）：実施計画に基づいた改築・改修、日常的な点検を実施する。

評価（C）：実施効果を検証・評価し、改善点を整理する。

改善（A）：次期実施計画に改善点を反映する。

また、本計画は、学校施設改修等の優先順位を設定するものであり、実施にあたっては、町全体の財政計画の中で実施年度および事業費を精査するものとします。さらに、事業の進捗状況・点検結果を反映し、社会情勢や本町の財政状況等を踏まえた上で、必要に応じて見直しを図るものとします。

参考資料
学校別評価結果表

評価結果表

鷹巣小学校				
	屋根・屋上	外壁	内部仕上	
特別教室棟 024	・仕上劣化 	・庇先端部の爆裂部(処理済) 		
屋内運動場 013	・改修済(H13大規模改修工事) 	・改修済(H13大規模改修工事) 	・漏水跡の木部腐食 	

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
1	鷹巣小学校	特別教室棟	024	RC	2	770	33	B	B	B	B	B	75	
2	鷹巣小学校	屋内運動場	013	RC	1	601	51	A	A	A	A	A	100	平成13年度大規模改修工事
16	鷹巣小学校	教室棟	002	RC	2	650	55						0	改築計画あり
17	鷹巣小学校	教室棟、管理棟、特別教室棟	018-1	RC	3	1,195	45						0	改築計画あり

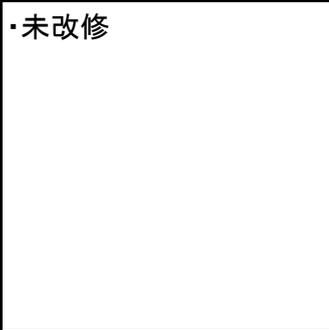
評価結果表

川床小学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
管理教室棟 016	・排水口不良及び防水劣化 	・未改修 	・屋内手摺取付部のヒビ割れ 
屋内運動場 013	・屋根上げ裏爆裂発生 	・外壁ヒビ割れ発生 	・屋内漏水による壁の破損 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
3	川床小学校	管理教室棟	016	RC	3	1,758	40	B	B	C	C	C	53	
4	川床小学校	屋内運動場	013	RC	1	609	43	B	C	C	C	C	43	

評価結果表

伊唐小学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
管理教室棟 014-1	・仕上劣化 	・外壁建具下部ヒビ割れ 	・未改修 
屋内運動場 014-2	・金属屋根錆発生 	・未改修 	・壁仕上面へのカビ発生 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					健全度 (100点満点)	備考
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		
5	伊唐小学校	管理教室棟	014-1	RC	2	738	29	B	B	B	B	B	75	
6	伊唐小学校	屋内運動場	014-2	RC	2	495	29	B	B	B	B	B	75	

評価結果表

城川内小学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
教室棟 008	・未改修 	・未改修 	・未改修 
へき地集会室 006	・金属屋根の錆発生 	・未改修 	・壁面の漏水跡 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
7	城川内小学校	教室棟	008	RC	2	782	36	B	B	B	B	B	75	
8	城川内小学校	へき地集会室	006	RC	1	532	46	B	C	C	C	C	43	
18	城川内小学校	教室棟	002-1	RC	2	558	52						0	改築計画あり
19	城川内小学校	教室棟	002-2	RC	3	360	51						0	改築計画あり

評価結果表

平尾小学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
教室棟 009	・防水仕上劣化 	・南側庇爆裂 	・未改修 
教室棟 024	・防水仕上劣化 	・未改修 	・未改修 
へき地集会室 012	・金属屋根錆発生 	・未改修 	・屋内ビビ割れ 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					健全度 (100点満点)	備考
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		
9	平尾小学校	教室棟	009	RC	3	1,193	46	C	C	C	C	C	40	
10	平尾小学校	教室棟	024	RC	2	467	21	A	A	B	B	B	84	
11	平尾小学校	へき地集会室	012	RC	1	496	45	C	B	C	C	C	50	

評価結果表

蔵之元小学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
教室棟 001-4	・防水仕上劣化 	・未改修 	・未改修 
教室棟 007	・未改修 	・仕上モルタルの浮きによる壁全面の剥離 	
教室棟 021	・未改修 	・外壁状況爆裂補修跡 	・未改修 
へき地集会室 006	・未改修 	・未改修 	・ヒビ割れ 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積 (㎡)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度 (100点満点)
12	蔵之元小学校	教室棟	001-4	S	2	212	26	B	B	B	B	B	75	
13	蔵之元小学校	教室棟	007	RC	2	405	40	C	C	C	C	C	40	
14	蔵之元小学校	教室棟	021	RC	3	1,032	23	B	B	B	B	B	75	
15	蔵之元小学校	へき地集会室	006	RC	1	480	44	B	C	C	C	C	43	

評価結果表

鷹巣中学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
管理教室棟 022	・屋上への出入口扉の錆発生 	・未改修 	・屋内階段上げ裏の仕上劣化 
教室棟 023	・未改修 	・外部外壁爆裂 	・未改修 
屋内運動場 032-1	・未改修 	・未改修 	・壁面のヒビ割れ 
地域・学校 連携施設 032-2	・未改修 	・未改修 	・未改修 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
21	鷹巣中学校	管理教室棟	022	RC	2	850	41	B	B	B	B	B	75	
22	鷹巣中学校	教室棟	023	RC	3	2,279	20	A	A	A	A	A	100	
23	鷹巣中学校	屋内運動場	032-1	RC	1	803	35	B	B	B	B	B	75	
24	鷹巣中学校	地域・学校連携施設	032-2	RC	2	259	35	B	B	B	B	B	75	

評価結果表

川床中学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
管理教室棟 016	・床面のヒビ割れ 	・底先端の爆裂跡(モルタル) 	・内部床ヒビ割れ 
特別教室棟 023	・未改修 	・未改修 	・未改修 
屋内運動場 015	・未改修 	・外壁ひび割れ 	・内部壁漏水後 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
25	川床中学校	管理教室棟	016	RC	3	1,472	46	B	D	D	C	C	23
26	川床中学校	特別教室棟	023	RC	3	311	34	B	B	B	B	B	75
27	川床中学校	屋内運動場	015	RC	1	636	50	B	C	C	C	C	43
38	川床中学校	武道場	020	W	1	292	46						0

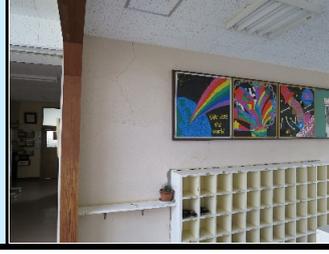
評価結果表

獅子島中学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
管理教室棟 017	・(太陽光発電パネル設置) 		・天井漏水跡 
特別教室棟 026	・(太陽光発電パネル設置) 	・未改修 	・未改修 
屋内運動場 030	・屋根状況 	・北側外観ヒビ割れ 	・未改修 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
28	獅子島中学校	管理教室棟	017	RC	3	1,305	42	B	B	B	B	B	75	
29	獅子島中学校	特別教室棟	026	RC	2	252	33	A	A	A	A	A	100	
30	獅子島中学校	屋内運動場	030	RC	1	830	22	B	B	A	A	A	91	

評価結果表

長島中学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
管理棟 013	・未改修 	・外壁状況防水塗装面への漏水 	・未改修 
特別教室棟 022	・未改修 	・建具下枠破損 	・未改修 
教室棟 031	・未改修 	・未改修 	・未改修 
屋内運動場 033	・未改修 	・未改修 	・内部状況ヒビ割れ 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
31	長島中学校	管理棟	013	RC	3	1,581	39	C	B	C	C	C	50	
32	長島中学校	特別教室棟	022	W	1	153	29	C	C	B	B	B	62	
33	長島中学校	教室棟	031	RC	2	660	17	A	A	A	A	A	100	
34	長島中学校	屋内運動場	033	RC	1	1,137	14	A	A	A	A	A	100	

評価結果表

平尾中学校			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
教室棟 013	・未改修 	・未改修 	・未改修 
管理棟 020	・屋根状況パラペットヒビ割れ 	・未改修 	・未改修 
へき地集会室 012	・未改修 	・未改修 	・内部状況(漏水跡) 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報								劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)
35	平尾中学校	教室棟	013	RC	1	120	43	B	B	C	C	C	53	
36	平尾中学校	管理棟	020	RC	2	1,578	32	C	B	B	B	B	72	
37	平尾中学校	へき地集会室	012	RC	1	682	48	C	C	C	C	C	40	

評価結果表

学校給食センター			
	屋根・屋上	外壁	内部仕上
共同調理場 001-1	・未改修 	・未改修 	・未改修 
二階会議室 001-2		・未改修 	・未改修 
共同調理場 001-6		・未改修 	・未改修 

※A,B,C,Dは劣化状況評価を表す

建物基本情報							劣化状況評価					備考	
通し番号	施設名	建物名	棟番号	構造	階数	延床面積(m ²)	築年数	屋根・屋上	外壁	内部仕上	電気設備		機械設備
39	長島町立学校給食センター	共同調理場	001-1	S	1	521	27	A	A	A	A	A	100
40	長島町立学校給食センター	二階会議室	001-2	S	2	45	27	A	A	A	A	A	100
41	長島町立学校給食センター	共同調理場	001-6	S	1	52	8	A	A	A	A	A	100

長島町学校施設等長寿命化計画

発行 長島町教育委員会

〒899-1395 鹿児島県出水郡長島町指江 787

電話 0996-88-5679 FAX 0996-88-5038

URL <https://www.town.nagashima.lg.jp>